

令和3(2021)年度

一般選抜(前期日程)

学生募集要項

(学士課程)

令和2年11月



金沢大学
KANAZAWA
UNIVERSITY

目 次

■出願から入学までの日程	3
■出願方法 [Web出願]	4
1. 入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)	5
2. 募集人員	14
3. 出願資格	15
4. 障がいのある者等の出願	15
5. 入学者選抜方法等	16
6. 出願手続	34
7. 受験票の印刷	39
8. 合格者発表	40
9. 入学手続	40
10. 欠員補充の方法	40
11. 追選考	41
12. 入試情報の提供	42
13. JAPAN e-Portfolio 学びのデータ	42
14. 問合せ先	42

■学生生活・個人情報	
1. 修学支援新制度	44
2. 入学料徴収猶予	44
3. 本学が加入を義務付けている学生保険	44
4. 授業料の納入	44
5. 奨学金	45
6. 学生留学生宿舍	45
7. 学生寮	46
8. 保健管理センター	46
9. 携帯型パソコンの準備	46
10. 入学試験の個人成績の開示	47
11. 個人情報の保護	48
12. 申請書類等の請求及び照会先	48

■キャンパスマップ	
1. 金沢大学所在地略図	49
2. 金沢大学キャンパス配置図	50

(注)・本入学者選抜に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項及び本学Webサイトを熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。修正及び補足事項も本学Webサイトに掲載します。
また、不測の事態により、発表内容、試験時間等を変更する場合も本学Webサイトに随時情報を掲載しますので、出願前及び受験直前に必ず確認してください。
・特別選抜については、それぞれの「令和3（2021）年度金沢大学学生募集要項」を確認してください。

『自然災害により被災された志願者の皆さんへ』

金沢大学では、自然災害等の被災者の経済的負担を軽減し、志願者の進学のを確保するため、入学検定料免除の特別措置を講じます。対象となる自然災害及び被災地域など、免除に関する詳細は、本学（入試情報）Webサイトを確

認してください。

本学（入試情報）Webサイト

本学トップページ>教育>入試情報

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>

入学検定料の免除を希望する者は、出願前に学務部入試課まで連絡してください。



■出願から入学までの日程

出 願 期 間	令和3年1月25日(月)～2月5日(金) ※Web出願システムは、1月18日(月)から事前登録可 Web出願は、出願情報の登録及び入学検定料の支払を行っただけでは、完了しません。出願期間内に、提出書類の郵送を済ませ、内容に不備がなかった場合、完了とします。
受 験 票 印 刷 可 能 日	令和3年2月9日(火)～
医 薬 保 健 学 域 医 学 類 第1段階選抜合格者発表	令和3年2月16日(火) 16:00(予定)
個別学力検査等実施日	令和3年2月25日(木)、26日(金) ※26日(金)は一部の学類のみ
合 格 者 発 表	令和3年3月10日(水) 10:00(予定)
入 学 手 続	令和3年3月15日(月)まで
入 学	令和3年4月

大学入学共通テスト特例追試験を受験した志願者の日程は以下のとおりです。

出 願 期 間	令和3年2月15日(月)～18日(木) ※詳細は35ページを確認してください。
受 験 票 印 刷 可 能 日	令和3年2月21日(日)～
医 薬 保 健 学 域 医 学 類 第1段階選抜合格者発表	令和3年2月22日(月) 16:00(予定)
個別学力検査等実施日	令和3年2月25日(木)、26日(金) ※26日(金)は一部の学類のみ
合 格 者 発 表	令和3年3月10日(水) 10:00(予定)
入 学 手 続	令和3年3月15日(月)まで
入 学	令和3年4月

【留意事項】新型コロナウイルス感染症の対応に関する情報提供等

不測の事態により、発表内容や試験時間等を変更する場合は、本学Webサイトに随時情報を掲載しますので、出願前及び受験直前に必ず確認してください。

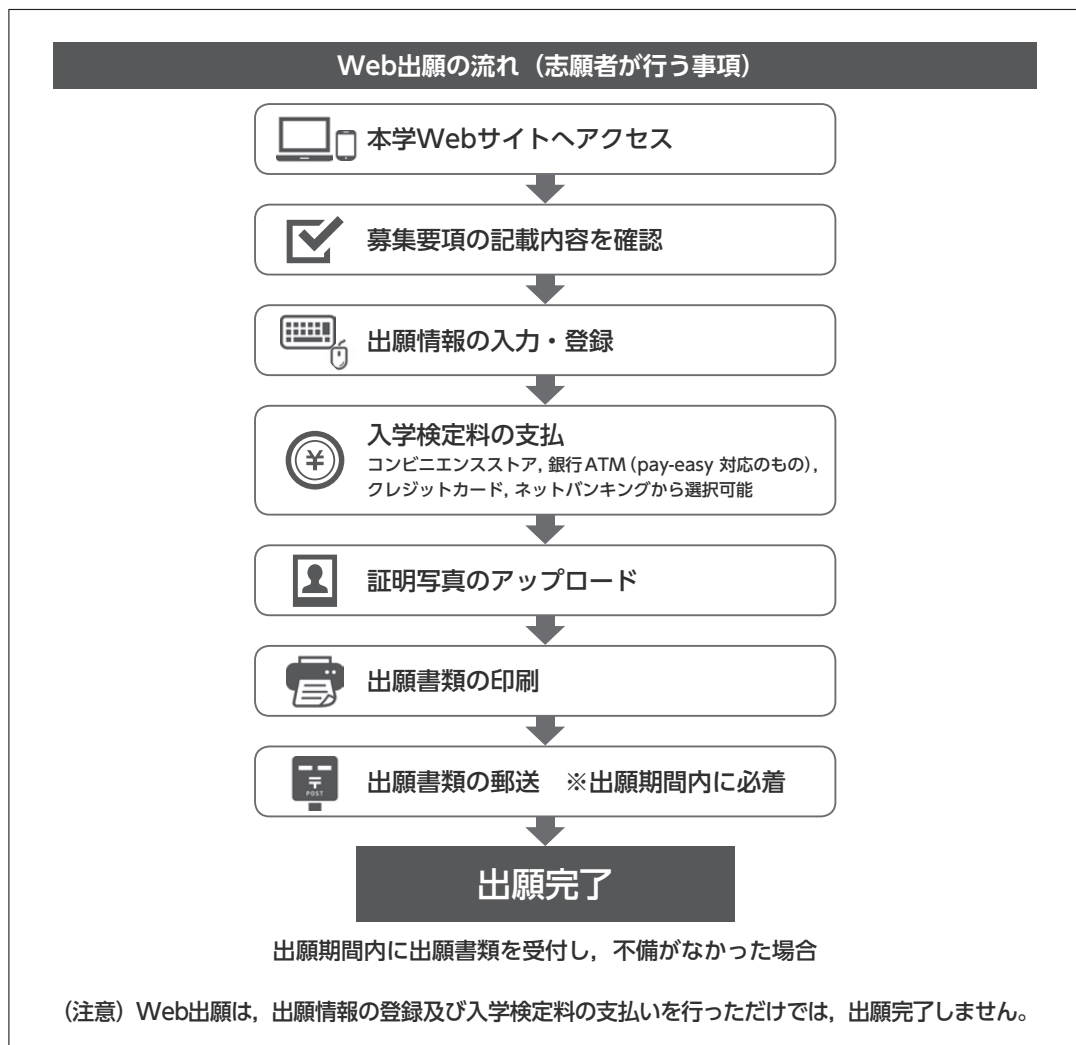
本学(入試情報)Webサイト 本学トップページ>教育>入試情報
<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>



■出願方法 [Web出願]

金沢大学の出願方法はWeb出願限定です。

学生募集要項の紙媒体（冊子）での配布は行いません。



※ Web出願の詳細は、本学Webサイトを確認してください。

本学（入試情報）Webサイト 本学トップページ＞教育＞入試情報
<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>



《Web出願デモサイト》

Web出願を体験できるデモサイトを、本学Webサイト（本学トップページ＞教育＞入試情報＞Web出願）に掲載しています。

1. 入学者受入方針（アドミSSION・ポリシー）

I 金沢大学アドミSSION・ポリシー

(1) 金沢大学憲章と教育の理念

1862（文久2）年、加賀藩彦三種痘所の設立をもって大学の創基とする金沢大学は、旧制第四高等学校を含む様々な前身校を源流として、1949（昭和24）年に新制金沢大学となりました。

150年以上に及ぶ金沢大学の教育研究と社会貢献は、そのありうべき姿を、現在、金沢大学憲章として明らかにしています。すなわち、金沢大学憲章は、その前文で大学全体の進むべき道をこう宣言しています。

「金沢大学は、本学の活動が21世紀の時代を切り拓き、世界の平和と人類の持続的な発展に資するとの認識に立ち、『地域と世界に開かれた教育重視の研究大学』の位置付けをもって改革に取り組むこととし、その拠って立つ理念と目標を金沢大学憲章として制定する。」

この憲章に謳われた教育理念とは、以下のものに他なりません。

「金沢大学は、学生の個性と学ぶ権利を尊重し、自学自習を基本とする。また、教育改善のために教員が組織的に取り組むFD活動を推進して、専門知識と課題探求能力、さらには国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材を育成する。」

(2) 金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）と

求める人材像

さらに、教育の国際化とグローバル人材育成が声高に叫ばれている今、金沢大学は、上に掲げた大学憲章を現在の状況における人材育成方針としてより具体化するために、金沢大学〈グローバル〉スタンダードを定めています。これは、各学域学類のアドミSSION・ポリシーの源泉たる、大学全体のアドミSSION・ポリシーとするものです。

金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）（抄）

「本学は、各人の立ち位置に課された人類の一員としての自己の使命を国際社会で積極的に果たし、知識基盤社会の中核的なリーダーとなって、常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていける能力・体力・人間力を備えた人材を育成する。」

すなわち、金沢大学は、このKUGSに適う資質と能力の開花を少なくとも確かな可能性として示すだけでなく、なによりも、このような人材になろうとする高い志と強い気概をもった人物の入学を期待しています。

(3) 金沢大学と主体性評価

金沢大学は、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

II 学域・学類等のアドミSSION・ポリシー

《融合学域》

【先導学類】

あらゆる意味で社会が変容し、従来の知識、制度、方法等では、国力の維持や強化に耐えられなくなりつつあります。多様な脅威にさらされるこれからの社会では、“社会変革を先導するリーダー”となる人材が不可欠です。そこで先導学類では、自己の鍛錬を続けて人・科学・社会の変革を先導する意欲を持つ人材を育成します。社会の要請に応えるため、人文・社会・自然等の科学分野を往還し、融合的な学知と他者との共創を通じて、各界で未踏のイノベーションの創成をリードする社会変革人材の養成を目指しています。

求める人材

先導学類では、次のような意欲ある入学者を求めます。

- ・様々な分野の知識を学び、それらを統合して課題発見・解決を率先したい人
- ・多様な制度・慣習等に知的関心を有し、より良い未来社会づくりに貢献したい人
- ・最先端の学知を融合し、社会変革に資する新たなモデル創成に挑戦したい人

選抜の基本方針

■一般選抜

文系傾斜では、基礎学力を問うとともに、国語、英語に加え、数学又は総合問題を課して学力を多面的に評価します。

理系傾斜では、基礎学力を問うとともに、数学、理科及び英語を課して学力を多面的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

様々な教科・科目について偏りなく学習し、到達度をより高めておくことが必要です。

《人間社会学域》

【人文学類】

人文学類では、人間をその行動、思想、歴史、文化、言語、文学といった多彩な観点から考察し深く学ぶことを通じて、人間性と社会性に富む教養と課題発見能力、社会的応用性を備えた専門的知識、的確な自己表現の能力、そして多面的視野と柔軟なコミュニケーション能力を持った人材の育成を目指しています。

求める人材

- ・人間の行動、思想、歴史、文化、言語、文学といった知的営みとその成果に対し深い関心を持ち、勤勉性と忍耐力に裏打ちされた学習意欲を有する人
- ・文献読解から実験、フィールドワークまでを含む人文諸学固有の方法論のあり方を学び、その成果を多様な現代社会の諸課題の解決に活かしたいという意欲を有する人
- ・広い視野を持ち、多様な価値観や伝統、異文化を積極的に

理解しようとする態度を有する人

- ・高等学校等で学習する国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語について総合的な基礎学力を有する人
- ・国語及び英語をはじめとする外国語における文章の読解能力、論理的思考能力、そして的確な表現力を有する人

選抜の基本方針

■一般選抜

大学入学共通テストを課して総合的な基礎知識を評価するとともに、人文学類の基本的科目である国語と英語の能力、そして総合問題による文章読解能力・論理的思考能力・表現力を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

人文学類で学び、探究する事柄は、人間に関する様々な事象が対象となりますので、高等学校等で学ぶ教科全般について基礎的な知識と理解力・思考力を身につけておくことを望みます。

【法学類】

国内外の社会状況が大きく変化している現代において、法と政治に関する基本的な理念や知識は、個々人が他者と共生していくために不可欠なものとなっています。法学類では、このような認識に基づき、法学・政治学を体系的に学ぶことを通じて、現代社会が抱える諸問題を発見し、将来的課題に取り組む能力を有した人材を養成することを目標としています。

求める人材

- ・大学での法学・政治学の学習に必要な基礎知識を備えている人
- ・国内外の社会問題に関心を持ち、よりよい社会の実現のために貢献したいと願っている人
- ・論理的思考や情報分析を通じて、また、過去の歴史的経緯をふまえつつ、社会現象の本質を探究したいという意欲のある人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加えて、外国語、国語及び数学の能力を重視して評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

- ・高等学校で履修した様々な科目の内容について理解していること
- ・法律や裁判例の読解、政治的問題の把握、これらに基づく私見の提示・論述に必要な国語力を十分に修得していること
- ・社会的・国際的諸問題の本質を探究し、その解決を図るために必要な社会科目や外国語科目の学力を十分に修得していること
- ・社会の数量分析や論理的思考のために必要な数学の学力を十分に修得していること

【経済学類】

経済学類では、多様な社会的課題に対応できる人材の育成を目指し、一般選抜に加えて、高校の専門教育を主とする学科又はそれと同等な総合学科からの進学希望者を対象とする

KUGS特別入試、及び超然特別入試・帰国生徒選抜・国際バカロレア入試・私費外国人留学生入試を設けています。経済分野に対する興味・関心と、勉学に対する強い意欲を持ち、基礎的資質に優れた人材を求めます。

求める人材

- ・経済学・経営学に関する体系的知識を学び、現代社会の諸問題の分析と解決に挑みたい人
- ・国や地域社会の仕事に携わるために必要な専門的知識を身につけたい人
- ・国際的な社会経済の日々の出来事に鋭敏にアンテナを張り巡らせている人
- ・営利・非営利のビジネスに関心を持ち、将来これらのフィールドで活躍したい人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、国語・数学・外国語の能力を重視します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

地域においても、国際的な分野においても、人間社会で活躍するためには、国語・英語及び情報処理の基本的な力は不可欠です。また経済学類では、特に数学の知識を前提にした授業を履修することを求めます。さらに現代社会の経済及びそこでの日本の位置づけを理解するためには、その前提として地理歴史・公民の知識が必要となります。現代の環境や技術革新の問題を学ぶためには、これと密接に結びついた科学技術の知識が必要であり、理科を学んでおくことを望みます。

【学校教育学類】

激しく変動するグローバル社会の中で、これからの学校教育における新たな学びを支える教師には、教科や教職に関する専門的な知識及び実践的指導力に加え、絶えず自律的に学び続け、学校を取り巻く現代社会の変化や諸問題を的確に把握し、使命感を持って課題解決にあたる姿勢が求められます。また、様々な社会的背景を持った多様な子どもたちに向き合い、より深く、共感的に理解しつつ、子どもの発達等に関する専門的知見を踏まえながら、一人一人の子どもたちのニーズに応じた対応が求められます。

学校教育学類は、こうした力量を持った義務教育段階の諸学校の教師を組織的、計画的に養成することを主たる目標としており、専門職としての教師への熱意にあふれ、かつ地域における文化の形成に寄与する人材を求めます。

学校教育学類には、教育科学コースと教科教育学コースのもと、教育基礎、特別支援教育、国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、家政教育、英語教育の11の専修があります。各専修への所属は2年進級時に、本人の希望、適性等を総合的に考慮したうえで決定します。

求める人材

- ・自立した専門職としての教師を目指す人
- ・社会、自然、人間、文化、教育について深い関心を持っている人
- ・自分の考えを表明し、他者との対話を通じて、反省的に自

己を形成していこうとする人

- ・教育を通じて、地域社会の再生と発展に貢献しようとする意志を持っている人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、英語、国語、数学、理科、総合問題の中から、3科目を選択する個別学力検査（英語と国語又は英語と数学を必修とする）を課し、多角的に評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

学校教育学類では、小学校一種免許状と、中学校一種免許状あるいは特別支援学校教諭一種免許状の取得に必要な科目の履修を卒業要件としていることから、次の3点を望みます。

- ・小学校・中学校・高等学校及びそれらに相当する学校など、これまで在籍してきた学校において教授された知識や技術を確実に獲得しておくこと
- ・大学で専門とする予定の分野に関する興味・関心を深めておくこと
- ・これまでの学校経験を省察するなどして、学校や教師のあり方について自分なりの考えを持っておくこと

【地域創造学類】

地域創造学類は、地域の自然的・文化的資源、伝統、人材、資金、社会関係などを専門的に分析把握し、自治を活かした地域固有のスタイルで、住民の健康・福祉・環境・産業・文化・観光を発展させるとともに、新たな価値創出によって地域を再生し活性化するため、質の高い個性ある地域を計画・設計・政策立案する能力を育成します。

地域創造学類には福祉マネジメント、環境共生、地域プランニング、観光学・文化継承の4つのコースがあります。2年次から本人の希望、適性、学業成績等を考慮して各コースに所属します。

求める人材

- ・大学での地域創造学の学習に必要な基礎的学力を有している人
- ・地域創造力を修得するために、本を読み、文章を書き、地域に出かけ、能動的に学修する努力を惜しまない人
- ・誰もが生き生きと安心して暮らせる地域づくりとグローバルな共生社会の発展に貢献したい人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、文系・理系科目両面の基本的科目である国語・数学・外国語を評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

地域創造学類では、福祉マネジメント、環境共生、地域プランニング、観光学・文化継承の各コースにおいて、専門的総合的に地域創造学を学ぶことから、高等学校で学ぶ教科全般について文系・理系科目両面にわたり理解しておくことを求めます。

また、地域の諸問題を調査・分析し、政策立案できる能力の修得を目指しています。その前提として、地域社会に対して強い関心を持ち、自ら主体的に情報を集め、自分なりの考

えをまとめられるようにしておくことを望みます。

【国際学類】

国際学類は、実践的な英語などの語学力を活用して、将来、外務・対外援助機関や国際機関で働きたい人、海外のNPO、NGOで経験を積みたい人、多国籍企業で力を試したい人、外国人に日本語・日本事情を教えたい人、国内での国際交流活動に携わりたい人などに必要な、多民族・多宗教・多文化共生社会を生き抜く強靱な知性と深い共感性、国際的な場におけるコミュニケーションに必要な外国語運用能力、具体的な問題提起と解決立案を行うセンスを養うことを教育目標とします。

国際学類には国際社会、日本・日本語教育、アジア、米英、ヨーロッパの5つのコースがあり、また、国際社会、米英の両コースには、英語だけで卒業できる英語プログラムもあります。各コースへの所属は2年進級時に本人の希望、適性、学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・多文化や多民族、及び国際社会における諸問題に積極的な興味を持つ人
- ・自国文化のアイデンティティを常に問い続ける、探究心あふれる人
- ・英語をはじめとする国際的に重要な外国語の実践的な運用能力を高めるために、努力を惜しまない人
- ・探究心とコミュニケーション能力を用いて、諸問題を粘り強く話し合い、国際的な場で相互理解と交渉妥結に達しようとする人
- ・将来、国際的な場での活動への従事を目指す人
- ・外国人に対する日本語教師を目指す人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、国語・英語の学力と数学の学力又は総合的な課題（総合問題）の理解力・論理的思考力・表現力等を重視します。なお、大学入学共通テストの「英語」については、4技能をみる所定の英語外部試験のスコアを提出することができます。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

国際学類では、グローバル化する世界を多様な観点から理解し、異文化との〈しなやかな共生〉を実現することのできる真の国際人を送り出すことを目指しています。この目的の実現のために、本学入学前に「英語」や「政治・経済」、「世界史」、「地理」などの学習に積極的に取り組み、これらの教科の知識を十分に獲得しておくことを望みます。また真の国際人として活躍するためには、自国の歴史・文化についての教養も不可欠です。そこで志願者には、日本理解の基礎として「日本語」（国語）及び「日本史」の学習を強く推奨します。「日本語」での読み・書き・話すことの能力は、大学で高度な知的訓練を受けるにあたり絶対必要な条件です。ただし、私費外国人留学生入試志願者で、英語プログラムを希望する場合は、日本語能力を必要としません。国内外において外国の人々と、積極的にコミュニケーションする意欲をもつことも望み

ます。入学後の研究テーマによっては、これらに加えてグローバル・イシューに関係する様々な教科を学ぶ必要があります。

《理工学域》

【数物科学類】

数学、物理学は長い歴史をもつ学問として、互いに大きな影響を与え合いながら発展してきました。また、計算機シミュレーションという新しい研究手段の導入により、これまで困難とされていた複雑な数理や自然現象の理解に大きな進展がもたらされています。それらは自然科学をはじめとする現代のあらゆる科学の基礎を支えています。数物科学類では、21世紀の科学として発展を遂げつつある新しい数学、物理学を学ぶことを通じ、国際社会の発展に寄与できる人材を育成します。より具体的には数理的、あるいは物理的なものの見方、思考法及び洞察力を身につけ、教育、情報・通信、製造・開発、金融をはじめ、高度情報化社会の様々な分野で活躍できる人材を育成することが目標です。

1年次では学類共通で基礎的科目を学び、2年次から数学系と物理系の基礎プログラムのどちらかを選択し、より専門的な内容の学修へと進みます。両基礎プログラムには共通する科目も用意され、進路選択の参考になるように工夫しています。3年次からは、さらに専門性を高めた発展プログラム群の学修へと学習段階を上げて行きます。発展プログラムとして、数学、応用数理、計算科学、物理学を用意し、各分野の専門家になるための学修が可能になっているとともに、各プログラムには共通する科目も用意し、広い分野に興味を持って学修できるように工夫しています。基礎プログラム、発展プログラムともに人数制限は設けられておらず、各自の適正や興味に応じて自由にプログラム選択できるのも大きな特色の一つです。

数物科学類では、数学・物理学の基礎に加えて計算機シミュレーションも学ぶことでバランスのとれた能力を身につけることができます。科学の基礎分野における問題意識や基本原理を学び、様々な数理・自然現象を説明することができること、最先端の研究開発に応用可能な技術や問題解決能力及びコミュニケーション能力や表現能力を身につけること、数学・物理学の原理に基づいて種々の自然現象を必要ならば計算機シミュレーションによって解析し、自ら課題を発見して論理的考察を行い、科学的実証により問題を解決することを重視します。

求める人材

- ・数学や物理学に興味をもち、それに取り組む熱意と探究心をもっている人
- ・計算機シミュレーション及びそれを生かした科学研究に興味のある人
- ・将来、数学、応用数理、計算科学、物理学及びそれらの関連分野の研究や教育に携わりたい人
- ・基礎科学をじっくりと学び、それを国際社会の発展に活かしたいと考えている人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、数物科学類にとっての基本的科目である数学・理科及び英語の学力を重視します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等の課程において、5教科7科目（数学、理科、外国語、国語、地理歴史・公民）又はそれに相当する科目を学び、そこで学修したことを十分に身につけておくことが必要です。

【物質化学類】

化学は物質の化学的性質・構造・反応などに関する基礎的原理の理解、新しい機能性物質の創製、さらに生活を支える化学製品の開発・製造から持続発展可能なエネルギー・環境技術の実現に至る幅広い領域を含んでいます。物質化学類では、現代社会の諸問題を解決できる創造力と技術力を身に付けた優れた研究者・技術者を養成するためにプログラム制カリキュラムを採用しています。コアプログラムで基礎学力を修得後、主題ごとに体系化された6つのアドバンスドプログラムから複数のプログラムを選択履修することで、化学の基本原理の探求と応用技術の創造に挑戦する力を身に付けることができます。

“独創性や観察力など独自に考える力”をもち“未知の分野に対する強い探究心とチャレンジ精神”の旺盛な人の入学を期待します。

求める人材

- ・自然現象の観察と実験に強い興味を持ち、実験を通して創造的に自然と関わりたい人
- ・独自に考える力と自然に対する好奇心を持ち、発見の感動を味わいたい人
- ・研究を通して得た成果を世界に向けて発信し、社会や自然界へ応用することに意欲がある人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、物質化学にとっての基本的科目である化学・数学及び英語の学力を重視します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目（大学入学共通テストで課している科目）について十分に理解できていることが必要です。さらに、化学を含む理系科目（理科、数学）は理学・工学の基礎となる科目ですので非常に重要です。文系科目（国語、外国語、社会系科目（地理歴史・公民））も自分の意見をまとめコミュニケーションを行うために必要です。また、高校生活の中で、日常的な科学現象に興味を持ち、それらを意欲的に探究する姿勢を身につけてください。

【機械工学類】

機械工学類では、技術者・研究者として、安全で安心な生活を支え、かつ、向上をもたらす様々な工業製品から、最先端技術の開発に至るまでを対象とした、先進的な設計技術、超精密加工、高度なシミュレーション技法の研究、さらに、

エネルギー問題の解決に取り組み、ものづくりのリーダーとして国際的に広く活躍する人材を育成します。そのために、機械工学の基盤となる物理学・数学を積極的に取り入れ、基礎学力の上に立脚した応用能力を涵養し、先端的な教育・研究を通して技術革新を担う能力を育成します。また、自己を知り自己の人間力や表現力を高めるため、倫理・環境に関する教育・研究を実施して工学のみならず社会の調和に貢献し得る人間力を養成します。

本学類は、物理学・数学を駆使し、原子・分子レベルから、巨大構造までを対象とした最適設計法、超精密加工技術、新素材の開発など、未知の領域に挑む分野から、環境に配慮した新エネルギーやエンジンの開発など、自然の保護と持続に貢献する分野まで、広く興味を持つ人材の入学を期待します。

求める人材

- ・先端機械工学への興味、モノづくりへの熱意、人間支援に対する高い志を持ち、講義、実験や実習、さらには研究に積極的に参加して行動できる人
- ・技術倫理についての自覚を持ち、地球環境への関心が高く、グローバルな視野の拡大と国際的コミュニケーション能力の向上に意欲を持つ人
- ・自ら創造的に課題を解決しようとする意欲を持つ人

選抜の基本方針

■一般選抜

機械工学類とフロンティア工学類と電子情報通信学類の選抜を一括して行います。この一括入試では基礎学力に加え、3学類において基礎となる数学・物理・英語の学力を評価します。入学後、学生自らが自己の適性を判断しながら進路を見つけていく経過選択制を導入しており、各学類への所属は2年次からとします。出願時に所属を希望する学類がある場合は1つだけ優先配属を申請でき、優先配属は入試成績により決定します。ただし、優先配属が決定した場合でも、2年進級時に優先配属を辞退して、他の2学類を再希望することができます。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入学共通テストで課している科目（理系科目及び文系科目）及び一般選抜の個別学力検査で課している科目（数学・理科・英語）について、十分理解しておくことが必要です。また、身の回りの“モノづくり”の仕組みから日常的な科学現象まで、様々な事象に対して探求力を高めることを望みます。

【フロンティア工学類】

本学類では、機械工学、化学工学、電子情報工学の知と技を結集した最先端の教育及び研究を通して、ナノの世界から宇宙空間や人間社会にわたるまでの様々な未踏領域を切り拓き、グローバルな観点から、工学の飛躍的な発展と、近未来社会の創造を牽引していくエンジニアや研究者の育成を目指します。具体的には、ロボティクス、航空宇宙工学、高度センシング技術、ナノテクノロジー、新機能性材料など技術革命をもたらす先進的な分野から、医療福祉工学、生活支援機

器、化学製品など生活や社会の調和と発展をささえる分野まで、広く興味を持つ人材を受け入れます。本学類ではコース制は採用せず、電子機械、機械、化学工学、電子情報の4つのコアプログラムと、知能ロボティクス、バイオメカトロニクス、マテリアルデザイン、計測制御システムデザイン、ヒューマン・エコシステム、ナノセンシングの6つのフロンティアプログラムを組み合わせる履修します。

求める人材

- ・ロボティクス、航空宇宙、スマートビークル、スマートセンシング、インテリジェント制御、ナノスケール計測、高分子、微粒子材料の開発など、新たな技術や学問分野の開拓に意欲を持つ人
- ・メカトロニクス、医療福祉工学、物質システムを中心とした、機械工学、電子情報工学、化学工学の分野でエンジニア、研究者、教育者の道に進みたい人
- ・グローバルな視点からの技術革新を通じて、次世代の社会を創造していく技術の構築に高い志を持つ人
- ・人間性、独創性と創造性が豊かで、自ら問題点を解決する意欲を持つ人

選抜の基本方針

■一般選抜

機械工学類とフロンティア工学類と電子情報通信学類の選抜を一括して行います。この一括入試では基礎学力に加え、3学類において基礎となる数学・物理・英語の学力を評価します。入学後、学生自らが自己の適性を判断しながら進路を見つけていく経過選択制を導入しており、各学類への所属は2年次からとします。出願時に所属を希望する学類がある場合は1つだけ優先配属を申請でき、優先配属は入試成績により決定します。ただし、優先配属が決定した場合でも、2年進級時に優先配属を辞退して、他の2学類を再希望することができます。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入学共通テストで課している科目（理系科目及び文系科目）及び一般選抜の個別学力検査で課している科目（数学・理科・英語）について、十分理解しておくことが必要です。また、身の回りのモノづくりや製品の仕組みから日常的な科学現象まで、幅広い興味と探究心を持つことを望みます。

【電子情報通信学類】

本学類が対象とする分野は、持続的発展可能で高度に情報化された未来社会を創造する電気電子技術（EET）と情報通信技術（ICT）からなります。本学類は、電気エネルギー創成・変換、ナノテクノロジー、光・電子デバイス、宇宙探査、セキュリティ、人工知能、IoT（Internet of Things）、ビッグデータ、クラウドコンピューティングなどに興味がある人材の入学を期待しています。

本学類には電気電子及び情報通信の2つのコースがあります。地球的視点や技術者としての高い倫理観を有し、電気電子・情報通信分野の未来の課題に対する解決能力を有する自立した技術者・研究者を養成します。

求める人材

- ・エネルギー、エレクトロニクス、情報通信に関する技術を身につけて国内外の幅広い分野で活躍したい人
- ・科学実験やコンピュータなどに関心があり、電気電子・情報通信分野の未来の課題を見つけて創意工夫したい人
- ・数学が得意な人、物理学、数学の応用に積極的に取組みたい人

選抜の基本方針

■一般選抜

機械工学類とフロンティア工学類と電子情報通信学類の選抜を一括して行います。この一括入試では基礎学力に加え、3学類において基礎となる数学・物理・英語の学力を評価します。入学後、学生自らが自己の適性を判断しながら進路を見つけていく経過選択制を導入しており、各学類への所属は2年次からとします。出願時に所属を希望する学類がある場合は1つだけ優先配属を申請でき、優先配属は入試成績により決定します。ただし、優先配属が決定した場合でも、2年進級時に優先配属を辞退して、他の2学類を再希望することができます。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

大学入学共通テストで課している科目においては、理系科目及び文系科目ともに重要であるため、確実に修得しておくことを望みます。また、一般選抜の個別学力検査で課している科目（数学、物理、英語）については、入学後の本学類における授業及び研究の基礎として非常に大切ですので、しっかりと学び、身につけておくことを求めます。

【地球社会基盤学類】

本学類では、共通教育としての金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）に基づき、グローバル社会をリードする人材育成のため、われわれ人類の生存基盤となる地球、日常生活の生活基盤となる社会及びそれらを取り巻く環境を対象に、理学と工学の両面から柔軟に思考できる能力を身につけるため、地球惑星科学・環境科学や環境工学、土木工学、防災工学、都市工学に関わる俯瞰的で幅広い基礎知識と特化した専門知識に基づく総合的・実践的な教育・研究を行い、地域からグローバルまでさまざまな局面において、社会をリードする研究者・技術者・教育者を養成します。科学的探究心に富み、これらの分野の専門知識を活かして活躍したいと考えている学修意欲のある人の入学を期待します。本学類には、地球惑星科学、土木防災、環境都市の3つのコースがあり、各コースへの配属は2年後期開始前に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・自然現象に対する科学的探究心のある人
- ・人文社会科学にも関心のある理系人間
- ・実験・野外調査や、ものづくり・創意工夫に興味のある人
- ・地域・我が国・世界の自然災害や防災・減災に関心のある人
- ・地球惑星科学、環境科学及び社会基盤工学の専門家や研究者になりたい人

- ・地球・環境・都市の課題に対し、科学技術を通じた社会貢献がしたい人
- ・都市や社会を支えるための科学技術に関心がある人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、理系基礎科目である数学、理科及び英語の学力を重視します。また、理系科目だけではなく国語や地理歴史・公民を含む幅広い能力も評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目（大学入学共通テストで課している科目を含む）について、しっかりと身につけておくことが必要です。特に、理系科目である数学、理科、また英語については、応用能力を含め、しっかりと身につけておくことが必要です。また、総合的な学力を身につけるために、理系のみならず、人文社会系科目の学修も勧めます。

【生命理工学類】

「生命」は21世紀の最重要キーワードといわれており、様々な生物についてシステムとしての理解が急速に進みつつあります。本学類では、生命に関する真理の探求を目指す生命科学、産業応用と技術開発を目指すバイオ工学、それらをコンピュータの力で拡張し加速する生命情報学の観点から、グローバル社会を牽引する研究者、技術者、さらには生命に関する最先端の知識を備えた人材の育成に貢献できる教育者を養成します。本学類では、新分野を切り開く学術的探究心に富み、理学と工学の専門知識を活かして活躍したいと考えている学習意欲のある人の入学を期待します。

本学類には生命システム、海洋生物資源、バイオ工学の3つのコースがあります。また、各コースへの所属は、2年後期開始時に本人の希望と学業成績等を考慮のうえ決定します。

求める人材

- ・生命現象に対して興味を持ち、理科系科目が得意で、実験や野外調査が好きな人
- ・日本海や世界の海洋生物資源の持続的な有効利用と増養殖に興味がある人
- ・基礎生物学、分子生物学、進化生物学、生態学、システム生物学、遺伝子工学、バイオ工学、バイオリファイナリー、生命情報学、環境科学、多様性生物学、海洋生物学、保全生物学などの分野で専門家や教育者の道に進みたい人
- ・生命科学やバイオ工学の分野で、新しい価値の創造や技術革新を目指したい人
- ・理学と工学の基礎知識を備えて、グローバル社会をリードし、生命・バイオ・海洋資源・環境分野で活躍したい人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、生命科学の基本的科目である数学、理科、外国語（特に英語）の学力を評価します。これらに加え、国語や地理歴史・公民を含む幅広い能力を重視します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修した科目（大学入学共通テストで課している科目を含む）について、しっかりと身につけておいてください。

生命科学の基本的科目である数学、理科、英語については、応用能力を含め特にしっかりと身につけておいてください。また、自然科学全般に広く興味を持って勉強しておいてください。

《医薬保健学域》

【医学類】

医学類は、従来の医学部医学科に相当し、卒業者は医師国家試験の受験資格を与えられ、合格することによって医師としての資格を得ることになります。

その上で、医学類では、社会の変化に適応しつつ、多様かつ高度な医療ニーズに応え、プロフェッショナルな医師としての成長・発展することが期待できる人材を受け入れます。

求める人材

明確な目的意識と強い使命感を有し、知識や技能の習得能力、論理的及び倫理的な思考力、協調性を有する人材を求めて選抜を行います。

選抜の基本方針

選抜の方法としては筆記試験、口述試験等を行います。医学では幅広い正確な知識とそれに基づいた合理的な思考力が必要とされるため、高等学校等で学ぶ教科全般について高いレベルの基礎的な知識と、単なる知識ではない理解力・思考力を全教科にわたり、偏りなく身につけておくことが望まれますが、特に理数系科目に重点を置き、筆記試験においてその能力を測ります。また、自己表現能力、課外活動（ボランティア、部活、生徒会活動等）の経験などを通じて得られた多様な人々と協働して学ぶ態度（協働性）、やり遂げる力（継続力）等を口述試験で評価します。

【薬学類】

薬学類は、人類が抱える健康や医療に関わる諸課題の解決に挑戦し、持続可能社会の実現に貢献する多様な「薬（くすり）専門人」の養成を基本理念とし、以下のような人材の養成を目指します。第一に、次代の薬学教育・薬学研究を担う、博士（薬学）の学位と薬剤師資格を併せ持つ「大学教員」、がん・生活習慣病・認知症・感染症等の主要疾患から難治性の希少疾患まで、革新的な医薬品の創出に取り組む「薬学研究者」等、薬学高度専門人材の養成を本学類の使命として特に重視します。第二に、超高齢社会、超過疎化、情報通信技術革新、国際化など、時代の急速な変化に対応して、人類の健康増進や疾病予防・治療に貢献できる多様な「薬学プロ人材」を養成します。第三に、薬学の知識のみならず多角的な知識・経験に基づいて物事を俯瞰でき、問題解決能力を身に付けた「主導的薬剤師」を養成します。

一般選抜の入学者は、基礎・専門科目やキャリア形成科目群の学修を通して、自らの適性と使命を見極めた上で進路を決定していく教育システムを取っていますが、中でも本学では大学院博士課程（4年制）への進学を強く推奨します。薬学類・高大学院接続入試の入学者には、大学院博士課程修了までの一貫した教育を導入しています。

求める人材

- ・十分な基礎学力を備えている人
- ・健康や医療に関する諸課題に挑戦し、持続可能社会の実現に貢献したい人
- ・国内外の大学において、健康増進や医療の進歩につながる学術研究を推進するとともに、次代の薬学教育を担う大学教員を目指す人
- ・国内外の研究機関において、革新的医薬品の創出に資する先進的な基礎研究に携わる薬学研究者を目指す人
- ・薬剤師資格を持ち、他の専門性も身に付けた「薬学プロ人材」として、国内外の幅広い健康・医療分野で活躍することを目指す人
- ・医療現場で医師、看護師等の他職種の医療従事者と連携しながら、薬剤師を統率する主導的薬剤師（基幹病院の薬剤部長等）を目指す人

選抜の基本方針

■一般選抜

高等学校での高いレベルの基礎学力と、特に理数英科目における秀でた学力を身につけた人材を選抜します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修する科目（大学入学共通テストで課している科目）について、しっかり理解できていることを求めます。特に、理数科目と英語の高い基礎学力と理解力が必須です。また、人類が抱える健康や医療に関わる諸課題について、日頃から意識と関心を持つことを望みます。

【医薬科学類】

「医薬科学類」は、次代の先進医療や画期的新薬開発等のイノベーションにつながる先端的な医薬科学研究を世界レベルで展開できる高度な研究基盤力を備えた研究者人材の養成を基本理念とします。本学類には、生命医科学と創薬科学の2つのコースがあり、1年次に医学と薬学の基礎的科目を共通に修得した後、コースに分かれて各専門性を深化させ、大学院博士前期・後期課程に進学して、医学・薬学の幅広い視点といずれかの深い専門性を併せ持つ特色ある研究者人材の養成を目指します。「生命医科学コース」では、薬学の基礎的知識も備えた、基礎医学・生命医科学領域を専門とする研究者を、「創薬科学コース」では、医学の基礎的知識も備えた、基礎薬学・創薬科学領域を専門とする研究者を養成します。各コースへの配属は、2年進級時に本人の希望、学業成績等を考慮のうえ決定します。

本学類では、以下に示す人材を広く求め、特に少数精鋭の特徴的な医薬科学教育を受けて、将来、世界の最先端医療や医薬品の研究・開発をリードする意欲を持つ人の入学を期待します。

求める人材

- ・十分な基礎学力を備えている人
- ・基礎医学及び基礎薬学を広く学び、生命医科学や創薬科学の発展に興味を持つ研究心旺盛な人
- ・将来、次代の先進医療や画期的新薬開発等のイノベーションにつながる研究成果を挙げて社会に貢献したい人

選抜の基本方針

■一般選抜

高等学校で学ぶ教科全般についての基礎的知識と、特に数学、理科、英語の高いレベルの学力を筆記試験によって評価します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校で履修する科目（大学入学共通テストで課している科目）について、しっかり理解できていることを求めます。特に、理数英科目の高い基礎学力と理解力が必須です。また、先進的な医療や医薬品に関して、日頃から意識と関心を持つことを望みます。

【保健学類】

保健学類は、「保健・医療・福祉における科学的な知識・理論・技術の修得と課題探究能力を養成し、豊かな教養と人間性を備えた高度専門医療人と保健学研究者を育成し、国民の医療・福祉の発展に寄与すること」を基本理念とします。教育目標は、1) 現代社会の抱える諸問題を総合的に洞察できる能力の育成、2) 日本語・外国語による討議・発表能力の育成、3) 保健学における基礎的知識と専門的知識・技術の修得、4) 保健学の知識・技術を活用した課題探究能力の育成、5) 豊かな人間性と高い専門職業人としての倫理観など医療人としての社会的使命感の涵養、6) 学際的保健学知識の統合による教育・研究能力の育成です。

保健学類では、国家試験受験資格の取得のためのカリキュラム編成が行われており、このため募集単位は看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻、理学療法学専攻、作業療法学専攻の5専攻を設けます。

【看護学専攻】

看護科学は、人間の誕生から死までを包括的に捉え、人々が、グローバル化する社会、多様な環境に適応しながら健康的に質の高い生活を送ることを支援する学問です。看護学専攻では、健康に関わる知識と技術を体系的に学習します。さらに、学内及び学外の医療、保健及び福祉現場での実習を通じて、高い倫理観、専門職としての使命感、医療チームの一員としての責任を学びます。また、研究やゼミを通し、将来の看護科学を担う者として幅広い科学的知識、問題解決方法などを学び、将来の進歩や変化に対応するための能力を養うと同時に、看護実践力のある指導者、教育者、研究者となるための基礎も身につけます。卒業時には、看護師、※保健師の国家試験受験資格を取得することができます。

※保健師課程については、平成26年度入学生から選択制としています。保健師として将来就職を希望する学生（最大50名：学類学生45名、編入学生5名）で、所定の科目を履修し、その単位を修得した者のみが、卒業時に「保健師国家試験受験資格」を取得できます。

【放射線技術科学専攻】

放射線技術科学は、放射線、磁気、超音波を使用した医療機器の原理や特性、情報処理技術、各種の医療画像形成法、人体の形態、機能並びに医薬品に対する生物学的な特性などを修得する学問です。診療放射線技師となるために必要な専門技術を修得するとともに、医療や放射線機器の進歩に対応できる能力を養います。また、研究室配属を通じて、将来の放射線技術科学を担う課題探究能力や、研究者となるための基礎も身につけます。卒業時には、診療放射線技師の国家試験受験資格を取得することができます。

【検査技術科学専攻】

検査技術科学は、主に病気の診断や治療効果判定に対して重要な情報を提供する臨床検査を学習する学問です。本専攻では臨床検査に関わる知識と専門技術を体系的に獲得し、医療現場での実習を通じて医療チームの一員である専門技術者としての役割を学びます。また、研究室配属を通じて、進歩する医療科学を担う深い科学的考察や革新的技術などを取得する能力を養います。卒業時には臨床検査技師の国家試験受験資格を取得することができます。

【理学療法学専攻】

理学療法学は、リハビリテーション医療の一専門分野です。種々の疾患や事故などにより、神経、筋、骨格、循環器、呼吸器などに損傷や障がいをもたらした人に対して、運動療法や物理療法を駆使して治療に当たります。理学療法学専攻では、理学療法士となるために必要な治療技術を科学的、実践的に修得するとともに、医療人としてあるべき人間性を育成します。卒業時には、理学療法士の国家試験受験資格を取得することができます。

【作業療法学専攻】

作業療法士として必要な知識、技術、コミュニケーション能力を修得し、専門職としての能力を高め、研究する態度をもつ人材を養成します。本学の作業療法教育は脳機能解析学や運動器障がいをはじめ、生活能力回復学の領域において幅広い分野の専門教員の下に行われています。作業療法の技術科学を修得し、研究を進め、技術を開発し、社会に役立ちたい人の入学を希望します。卒業時には、作業療法士の国家試験受験資格を取得することができます。

求める人材

【看護学専攻】

- ・看護の専門技術や知識を高めて、社会に貢献する意欲を持つ人
- ・病める人に対する医療のために、情熱を燃やすことのできる人
- ・人間の健康、医療問題に対して国際的視野で貢献したいと強く願う人
- ・保健の分野で、新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
- ・看護学及び看護の進歩のために、将来のリーダーとなる夢を持つ人

【放射線技術科学専攻】

- ・診療放射線技師として保健医療を支えることができる有能な人

- ・高度先進医療に対応し常に努力することができる人
- ・専門的な知識を習得するのみならず研究・思考することができる人
- ・患者の立場に立って行動・発言できる豊かな人間性を持つ人

【検査技術科学専攻】

- ・病める人に対する医療のために、知識や専門技術を高め、社会に貢献する情熱を持つ人
- ・医療科学の分野で新しい技術や知識を創り出す熱意を持つ人
- ・臨床検査技術の進歩に貢献し、将来のリーダーとなる夢を持つ人

【理学療法学専攻】

- ・豊かな人間性と愛情を持ち、学習意欲の高い人
- ・社会のニーズに応え、努力を惜しまない人
- ・理学療法学の今後を担い、人類社会に貢献できる人

【作業療法学専攻】

- ・たゆまず努力して、自分の能力を高めようとする人
- ・専門技術や知識を高めて、社会に貢献する意欲を持つ人
- ・病める人に対する医療のために、情熱を燃やすことのできる人
- ・人間の新たな能力を引出し活用する作業療法を修得し発展させたい人

選抜の基本方針

■一般選抜

基礎学力に加え、看護学・放射線技術科学・検査技術科学の3専攻は数学・理科及び英語の学力、理学療法学・作業療法学の2専攻は理科及び英語の学力を重視します。なお、理学療法学・作業療法学は2専攻併願で実施し、出願時に第2志望の専攻まで選択することができます。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

【看護学専攻】

論理的思考力・表現力を身につけるため、文系科目と理系科目の幅広い基礎学力の習得を望みます。

【放射線技術科学専攻】

科学的な視点で事象を理解するための基礎的な知識が必要であり、理科・数学を学んでおくことを望みます。また、文章を正確に読解し、事象に応じた的確に記述する国語・英語力の習得を望みます。

【検査技術科学専攻】

種々の臨床検査技術における基礎となる理論や科学的考察には、数学、物理、化学及び生物学の考え方や知識が必要で、高等学校においてこれらの教科の履修を望みます。また、情報収集及び発信に必要な英語の力を求めます。

【理学療法学専攻】

高等学校までに学ぶ国語、社会、数学、理科、英語について十分な基礎学力を身につけておくことが重要です。

【作業療法学専攻】

理系科目と文系科目の均衡がとれた幅広い基礎学力の習得を望みます。

《一括入試》

【文系一括、理系一括】

金沢大学では、「専門知識と課題探求能力、そして国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材の育成」を大学憲章において教育目標に掲げています。さらに金沢大学〈グローバル〉スタンダード（KUGS）では、科学的な世界観と歴史観、論理的展開力、己を磨く人間力、創造力、そして日本文化・異文化に対する深い理解力を備え、知識基盤社会の中核的リーダーとなって挑戦し続ける人材の育成に努めることを謳っています。金沢大学は、上述の目標と大学に求められる社会的役割を踏まえ、入学後の学修、研究に必要な基礎学力を有し、さらに豊かな教養の涵養、高い専門性の修習を目指す学生が入学することを期待します。

特に文系一括、理系一括入試においては、様々な分野にまたがって強い興味と関心を持ち、幅広い分野に触れて自らの視野を広げながら主体的に学ぶ熱意があり、かつ、積極的に課題を発見して取り組む意欲のある人を受け入れます。

一括入試で入学した学生は、国際基幹教育院総合教育部に1年間所属し、文系の場合は人文科学・社会科学に関する分野を、理系の場合は自然科学に関する分野を広く学び、2年進級時に、本人の志望、学業成績等を考慮の上、文系の場合は融合学域又は人間社会学域の中から、理系の場合は融合学域、理工学域又は医薬保健学域（医薬科学類、保健学類理学療法学専攻及び作業療法学専攻を除く）の中から移行する学類（保健学類の場合は専攻）を決定します。

求める人材

- ・多様な分野にまたがり強い興味と関心を持つ人
- ・幅広い分野に触れて自らの視野を広げながら主体的に学ぶ熱意がある人
- ・積極的に課題を発見して取り組む意欲のある人
- ・リーダーシップと協調性を持つ、あるいはこれからそれらを身につけることを目指す人
- ・意思決定に伴う責任を自覚した上で、客観的かつ科学的な状況分析を心がける人

選抜の基本方針

■一般選抜

文系一括入試では、基礎学力に加え、英語の学力と総合的な課題（総合問題）の理解力・論理的思考力・表現力等を重視します。

理系一括入試では、数学及び英語の基礎学力に加え、物理又は化学の学力を重視します。

入学までに身につけて欲しい教科・科目等

高等学校等で学ぶ教科全般について基礎的な知識と理解力・思考力・表現力を身につけておくことを望みます。

2. 募集人員

学域・学类等			入学 定員	募 集 人 員															
				一般選抜				特別選抜											
								KUGS 特別入試				超然特別入試		薬学類・ 高大院 接続 入試	在外 留学生 推薦 入試	社会 人選 抜	帰国 生徒 選抜	国際 バカロ レア 入試	私費 外国人 留学生 入試
												A- lympiad 選抜	超然 文学 選抜						
前期日程		一括入試		総合型 選抜	学校 推薦型 選抜	英語 総合 選抜	若 干 名	若 干 名	若 干 名	5	若 干 名	若 干 名	若 干 名	若 干 名					
融合 学域	先 導 学 類	55	40 〔文系傾斜 理系傾斜〕	文系	68	Ⅱ 2	——	Ⅱ 2	若干名	若干名	——	5	若干名	若干名	若干名	若干名			
	人 文 学 類	141	123			Ⅱ 5	——	——	若干名	若干名	——	——	——	若干名	若干名	若干名			
法 学 類	160	135	Ⅱ 10			——	——	若干名	——	——	——	——	若干名	若干名	若干名				
経 済 学 類	131	106	——			Ⅰ 10	——	若干名	——	——	——	——	若干名	若干名	若干名				
人間社会 学域	学校教育学類	85	58			移行人数 〔先導学類 人文学類 法学類 経済学類 学校教育学類 地域創造学類 国際学類〕	3 13 15 15 2 10 10	Ⅱ 18 県数員3 専修枠 専修枠 〔美術3 保体5 家政3 特支4〕	Ⅱ 7 専修枠 〔国社英2〕 数理1 〔音楽4〕	——	若干名	若干名	——	——	——	——	若干名	若干名	
	地域創造学類	88	63			Ⅱ 15	——	——	——	——	——	——	——	若干名	若干名	若干名			
	国 際 学 類	83	53			Ⅰ 20	——	——	若干名	若干名	——	——	——	若干名	若干名	若干名			
	計	688	538			68	17	——	——	——	——	——	——	——	——	——			
	数物科学類	82	71			Ⅱ 3	——	——	若干名	——	——	——	——	若干名	若干名	若干名			
理工学 域	物質化学類	79	69			Ⅱ 3	——	——	若干名	——	——	——	——	若干名	若干名	若干名			
	機 械 工 学 類	97	239 〔理工3学類一括入試〕	Ⅱ 3	——	——	若干名	——	——	——	——	——	——	——					
	フロンティア工学類	107	移行人数 〔機械工学類 84 フロンティア工学類 87 電子情報通信学類 68〕	——	——	——	若干名	——	——	——	——	若干名	若干名	若干名					
	電子情報通信学類	78	87	Ⅱ 3	——	——	若干名	——	——	——	——	——	——	——					
	地球社会基盤学類	98	80	Ⅱ 3	Ⅱ 5	——	若干名	——	——	——	——	若干名	若干名	若干名					
	生命理工学類	58	49	Ⅱ 3	——	——	若干名	——	——	——	——	若干名	若干名	若干名					
	計	599	508	18	5	——	——	——	——	——	——	——	——	——					
	医 学 類 〔6 年制〕	112	84	——	Ⅱ 27	——	——	——	——	——	——	若干名	——	若干名					
医薬保健 学域	薬 学 類 〔6 年制〕	65	53	——	——	——	——	——	——	10	——	若干名	若干名	若干名					
	医 薬 科 学 類	18	18	——	——	——	若干名	——	——	——	——	若干名	若干名	若干名					
	保健学 類	看護学専攻	79	64	——	Ⅱ 14	——	——	——	——	——	——	若干名	若干名	若干名				
		放射線技術科学専攻	40	36	——	Ⅱ 3	——	——	——	——	——	——	若干名	若干名	若干名				
		検査技術科学専攻	40	32	——	Ⅱ 6	——	——	——	——	——	——	若干名	若干名	若干名				
		理学療法学専攻	15	20	——	Ⅱ 5	——	——	——	——	——	——	若干名	若干名	若干名				
		作業療法学専攻	15	10 〔理学・作業併願入試〕 理学療法学専攻 10 作業療法学専攻 10	——	Ⅱ 5	——	——	——	——	——	——	若干名	若干名	若干名				
	小 計	189	152	——	33	——	——	——	——	——	——	——	——	——					
	計	384	307	——	60	——	——	——	10	——	——	——	——	——					
	合 計	1,726	1,393	146	88	82	2	——	——	10	5	——	——	——	——				

- (注) 1. 前期日程の募集人員には、超然特別入試、社会人選抜、帰国生徒選抜、国際バカロレア入試及び私費外国人留学生入試の募集人員も含まれます。後期日程では募集しません。
2. 特別選抜の合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。
3. 一括入試入学者の移行先は、文系一括入試においては、融合学域及び人間社会学域各学類とし、理系一括入試においては、融合学域、理工学域及び医薬保健学域各学類（医薬科学類、保健学類理学療法学専攻・作業療法学専攻を除く）とします。各学域・学類への移行は2年次からとします。また、1年次は国際基幹教育院総合教育部に所属します。
4. 先導学類の文系傾斜及び理系傾斜は受験教科・科目が異なります。詳細は19ページを確認してください。
5. 機械工学類、フロンティア工学類、電子情報通信学類の一般選抜（前期日程）は、3学類一括で実施します。各学類への移行は2年次からとします。
6. 保健学類の理学療法学専攻、作業療法学専攻の一般選抜（前期日程）は、2専攻併願で実施します。出願時に第2志望の専攻まで選択することができます。また、専攻別に合格者を発表します。
7. KUGS特別入試において、Ⅰは大学入学共通テストを課さない入試、Ⅱは大学入学共通テストを課す入試を指します。
8. 地球社会基盤学類の学校推薦型選抜Ⅱは、地球惑星科学コースで実施します。
9. 生命理工学類の総合型選抜Ⅱは、海洋生物資源コースで実施します。

3. 出願資格

次のいずれかに該当し、令和3年度大学入学共通テストにおいて、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目（17～31ページ「5. 入学者選抜方法等（4）実施教科・科目等」）を受験した者*

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和3年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第1号から第5号の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和3年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- (4) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条第7号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和3年3月31日までに18歳に達するもの

上記(4)により出願する場合は、出願に先立ち「金沢大学入学資格審査申請要領」により入学資格審査を行います。

申請期間 令和3年1月4日(月)～15日(金)(必着)

申請先 下記あて郵送にて申請してください。審査結果は、令和3年1月24日(日)までに通知します。

金沢大学学務部入試課入学試験係

〒920-1192 金沢市角間町

電話 076-264-5169（平日9：00～17：00 ※祝日及び年末年始を除く）

FAX 076-234-4042

E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp

(注)「金沢大学入学資格審査申請要領」は、本学Webサイトを確認してください。

本学（入試情報）Webサイト

本学トップページ＞教育＞入試情報＞金沢大学入学資格審査について

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/sinsa/>



※ 大学入学共通テストにおいて、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等を受験しなければ、出願無資格者となります。その場合は、個別学力検査等を受験できません。

〔参考〕学校教育法施行規則第150条

学校教育法第90条第1項の規定により、大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 1 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 2 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 3 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 4 文部科学大臣の指定した者
- 5 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- 6 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- 7 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したものの

4. 障がいのある者等の出願

本学に入学を志願する者で、障がい等があり、受験及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願に先立ち、本学に事前相談書等を提出し、相談してください。

なお、体幹及び両上下肢の機能障がいが著しく、本学の個別学力検査において、「代筆解答」を必要とする者は、下記の期限にかかわらずできるだけ早い時期に本学へ相談してください。また、事前相談期限後に受験及び修学上の配慮を必要とする事態が生じた場合も、直ちに本学へ相談してください。

(1) 事前相談期限 令和3年1月5日(火)

事前相談期限を過ぎてからの相談の場合でも対応しますが、必ずしも要望に沿うことができないこともあります。

(2) 提出書類

① 事前相談書（次の事項及び連絡先（住所・電話番号・メールアドレス）を記載したもの。様式は問いません。）

ア 志願者氏名

イ 志望学域・学類等及び受験予定の入試区分

ウ 障がいの種類・程度

エ 受験について配慮を希望する事項

オ 修学について配慮を希望する事項

カ 高等学校若しくは中等教育学校等でとられていた配慮

キ 日常生活の状況

ク その他参考となる事項

② 医師の診断書（上記ウ、エ、オ、キに関する項目も記載してください。）

③ 大学入学共通テストの「受験上の配慮事項審査結果通知書」又は「受験上の配慮事項決定通知書」の写し（大学入学共通テストで受験上の配慮を認められた者のみ）

④ その他参考書類（障害者手帳の写し等）

(3) 相談先

金沢大学学務部入試課入学試験係 〒920-1192 金沢市角間町

電話 076-264-5169（平日9:00～17:00 ※祝日及び年末年始を除く）

FAX 076-234-4042

E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp

5. 入学者選抜方法等

(1) 入学者選抜方法

入学者の選抜は、分離分割方式（前期日程）で行い、大学入学共通テスト並びに本学が行う個別学力検査等及び調査書の審査の結果を総合して行います。

一般選抜は、配点比率を示した大学入学共通テストと個別学力検査等の結果を総合して合否判定を行うのが基本であり、学力検査の合計点による合否ボーダー層の志願者のみ「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するため調査書を活用します。

① 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目等、個別学力検査等の詳細は、「(3) 2段階選抜の実施（医薬保健学域医学類）」から「(9) 試験場」までの各項をそれぞれ確認してください。

② 大学入学共通テストで、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等（外国語について英語を選択する場合は、リスニングテストを含む）を受験しなければ、出願無資格者とします。その場合は、個別学力検査等を受験することはできません。また、個別学力検査等で、志望する学域・学類等が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格とします。

なお、個別学力検査の採点・評価基準は、32ページ「5. 入学者選抜方法等 (5) 採点・評価基準（個別学力検査）」を確認してください。

(2) 併願

志願者は、「前期日程」で試験を実施する大学・学部（学域・学類）等から1つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部（学域・学類）等から1つ、合計2つの大学・学部（学域・学類）等に出願することができます。したがって、「前期—後期」の併願は認めますが、「前期—前期」、「後期—後期」の併願は認めませんので注意してください。なお、本学は後期日程では募集を行いません。

(3) 2段階選抜の実施（医薬保健学域医学類）

医薬保健学域医学類において志願者数が募集人員に対する予告倍率（3倍程度）を超えた場合には、大学入学共通テストの教科・科目の配点による成績の総得点により第1段階選抜を行うことがあります。その場合は、第1段階選抜合格者についてのみ第2段階選抜を実施します。

第1段階選抜合格者発表（又は第1段階選抜不実施の発表）

第1段階選抜を実施した場合は、第1段階選抜合格者の受験番号を**医学類掲示場及び本学（入試情報）Webサイト**において発表するとともに、志願者全員に**第1段階選抜結果通知書**を送付します。令和3年2月22日(月)までに到着しない場合は、学務部入試課入学試験係（連絡先：076-264-5169）へ連絡してください。

第1段階選抜を実施しなかった場合は、実施しなかった旨を**医学類掲示場及び本学（入試情報）Webサイト**において発表しますので、確認してください。

発表日時：令和3年2月16日(火) 16:00（予定）

（ただし、大学入学共通テスト特例追試験を受験した志願者は令和3年2月22日(月) 16:00（予定））

発表場所：医薬保健学域医学類掲示場（宝町・鶴間キャンパス医学類F棟1階正面玄関掲示板）

本学（入試情報）Webサイト <https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>

本学Webサイトへの掲載期間は、令和3年2月16日(火)16:00（予定）から24日(水)までです。



（注） 1. 電話等による可否の問合せには応じません。

2. 入学検定料について、第1段階選抜で不合格となった者には、13,000円を返還します。該当する者には、第1段階選抜結果通知の際に入学検定料一部返還請求書を送付しますので、令和3年2月26日(金)までに申し出てください。

（4）実施教科・科目等

【留意事項】

（i）大学入学共通テストの「数学」のうち「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

（ii）個別学力検査の「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」、「地学基礎・地学」の出題範囲については、次のとおりです。

「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」……それぞれ全範囲を出題範囲とします。

「数学B」……「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。

「物理基礎・物理」……「物理基礎」及び「物理」の全範囲から出題します。

「化学基礎・化学」……「化学基礎」及び「化学」の全範囲から出題します。

「生物基礎・生物」……「生物基礎」及び「生物」の全範囲から出題します。

「地学基礎・地学」……「地学基礎」及び「地学」の全範囲から出題します。

（iii）大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等については次のとおりです。

① 配点に※印を付してある教科は、選択教科を表します。

② 大学入学共通テストで、指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲で高得点の順に教科・科目の成績を利用します。

ただし、『**地理歴史**』『**公民**』の受験科目を1科目と指定した学類において2科目受験している場合及び「**理科**」の受験科目を1科目と指定した学類において2科目受験している場合は、それぞれ受験した科目のうち第1解答科目の成績を利用します。（第1解答科目が指定した科目以外の場合は失格とします。）

また、文系一括入試の『**地理歴史**』『**公民**』に関しては、大学入学共通テストの『**地理歴史**』『**公民**』を2科目受験している場合、第1解答科目の成績を優先して利用します。よって、第2解答科目の成績を利用するのは、指定した教科・科目の範囲（「外国語」を除く）で高得点の上位2科目が『**地理歴史**』『**公民**』の第1解答科目及び第2解答科目である場合のみです。

（大学入学共通テストの『**地理歴史**』『**公民**』及び「**理科**②」の試験時間において2科目を選択する場合、解答順に前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とします。）

③ 大学入学共通テストの「理科」のうち、「基礎を付した科目」（「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」）から2科目を選択するように指定している学類の中で、**人文学類**、**法学類**、**経済学類**、**国際学類**においては、「基礎を付していない科目」（「物理」、「化学」、「生物」、「地学」）から2科目を選択した場合、基礎を付した2科目を選択したものとみなし、合計得点（200満点）を100点満点に換算して利用します。

④ 大学入学共通テストで「数学」2科目又は「理科」2科目を課す学域・学類等については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。

⑤ 個別学力検査で「理科」2科目を課す学域・学類等については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。

⑥ 大学入学共通テストの「英語」(200点満点)の成績は、リーディングテスト(100点満点)及びリスニングテスト(100点満点)の成績をそのまま利用します。

大学入学共通テストの「英語」のリスニングテストが免除の重度難聴者については、「英語」のリーディングテストの成績(100点満点)を200点満点に換算して利用します。

(iv) 大学入学共通テストの「英語」での英語外部試験の利用については次のとおりです。

① 大学入学共通テストの「英語」について、次の表に○で示す学域・学類等においては、英語外部試験で一定以上のスコア*の場合、スコアの提出を認めます。

対象とする英語外部試験は、ケンブリッジ英語検定(リングスキル含む)、実用英語技能検定、GTEC(CBT)、IELTS、TEAP(4技能又はCBT)、TOEFL iBT(Special Home Edition含む)です。これらの英語外部試験のスコアは得点化を行い、大学入学共通テストの「英語」の得点と比較して高得点の方を利用します。

英語外部試験のスコアの提出を認める場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

* 本学が求める一定以上のスコア：

ケンブリッジ英語検定：140、実用英語技能検定：1950、GTEC(CBT) 910、IELTS：3.0、TEAP(4技能)：225、
TEAP(CBT)：420、TOEFL iBT：42**

** Test Date Scoreのみ認めます。My Best Scoreは認めません。

上記の英語外部試験のスコアの提出を認める学域・学類等

学域・学類等		前期日程
融合学域	先導学類	○
人間社会学域	人文学類	○
	法学類	—
	経済学類	○
	学校教育学類	○
	地域創造学類	○
	国際学類	○
理工学域	数物科学類	—
	物質化学類	—
	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類	—
	地球社会基盤学類	—
	生命理工学類	—
		—
医薬保健学域	医学類	—
	薬学類	—
	医薬科学類	—
	保健学類	○
「文系一括、理系一括」入試		○

(注) —は英語外部試験を利用しない学類です。

② 英語外部試験のスコア提出については、37ページ「6. 出願手続 (3) 出願書類等 ③その他必要な提出書類」の「英語外部試験の成績証明書等の写し」を確認してください。

(v) 各学域・学類等の内容が表示してある表の下「注意事項」も必ず確認してください。

学域・学類等		大学入学共通テストの利用教科・科目名			大学入学共通テスト 受験科目チェック欄	個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										そ の 他			
		教 科	科 目 名 等			教科等	科 目 名 等	試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	口述 試験		配点 合計		
融合学域	先 導 学 類	文系傾斜	国 語	「国語」		☐ 必須	国 語 数 学 その他 外国語	国語総合 数学Ⅰ・数学Ⅱ・ 数学A・数学B 総合問題 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	共通テスト		100	※100 (50×2)		100	100	100			500	大学入学共通テストで、 志望する学域・学類等が 課すすべての教科・科目等 （「外国語」について「英語」 を選択する場合は、リスニング テストを含む。） を受験しなければ、出願無 資格者となります。その場合 は、個別学力検査等を受験 することはできません。 また、個別学力検査等で、 志望する学域・学類等が課 す教科・科目等のすべてを 受験しなければ、失格とし ます。	
			地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」		から1又は2			個別学力検査等		200			※200		400	※200		800		
			公 民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」		から1			計	数学選択 （個別）	300	100		300	100	500		1300			
			数 学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」		から1				総合問題選択 （個別）	300	100		100	100	500	200				
			理 科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」		から2															
				又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」		から1															
			外 国 語	「英語」 ^{（注2）} 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」		から1															
			計	〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕		☐ 計 科目															
		理系傾斜	国 語	「国語」		☐ 必須	数 学 理 科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B 物理基礎・物理、 化学基礎・化学、 生物基礎・生物 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	共通テスト		100	※50 (50×1)		100	100	100			450		
			地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」		から1			個別学力検査等					400	250	200		850			
			公 民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」		から1			計	100	50		500	350	300			1300			
			数 学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」		から1															
			理 科	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」		から2															
			外 国 語	「英語」 ^{（注3）} 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」		から1															
			計	〔5教科7科目〕		☐ 計 科目															

【先導学類 文系傾斜】 注意事項
「理科」で3科目受験している場合（つまり、「理科」の「基礎を付した科目」2科目＋「理科」の「基礎を付していない科目」1科目）は、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い方の1科目（「理科」の「基礎を付した科目」2科目を利用した場合は2科目）の成績を用います。
（注1） 大学入学共通テストにおいて、「地理歴史」「公民」は、次のいずれかの組合せとします。
「地理歴史」から2科目又は「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目
（注2） 大学入学共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、18ページ「5 入学者選抜方法等」（4）実施教科・科目等【留意事項】（iv）」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

【先導学類 理系傾斜】 注意事項
（注3） 大学入学共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、18ページ「5 入学者選抜方法等」（4）実施教科・科目等【留意事項】（iv）」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等		大学入学共通テストの利用教科・科目名		大学入学共通テスト 受験科目チェック欄	個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										そ の 他
		教科	科目名等		教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	口述 試験	配点 合計	
人間社会 学 域	人文学類	国語	「国語」	☐ 必須	国語 外国語 その他	国語総合 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 総合問題	共通テスト	100	※150 (75×2)		100	50	100			500	大学入学共通テストで、 志望する学域・学類等が 課すすべての教科・科目等 （「外国語」については「英 語」を選択する場合は、リ スニングテストを含む。） を受験しなければ、出願無 資格者とします。その場合 は、個別学力検査等を受験 することはできません。 また、個別学力検査等で、 志望する学域・学類等が課 す教科・科目等のすべてを 受験しなければ、失格とし ます。
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から1又は2			個別学力検査等	300					300	150		750	
		公民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	から1 (注1)			計	400	150		100	50	400	150		1250	
		数学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1													
		理科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	から2													
		外国語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 (注2)													
		計	〔5教科8科目〕又は〔6教科8科目〕	☐ 計 科目													
	法学類	国語	「国語」	☐ 必須	国語 数学 外国語	国語総合 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	共通テスト	50	※150 (75×2)		50	50	100			400	
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から1又は2			個別学力検査等	150			150		300			600	
		公民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	から1 (注3)			計	200	150		200	50	400			1000	
		数学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1													
		理科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	から2													
		外国語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1													
		計	〔5教科8科目〕又は〔6教科8科目〕	☐ 計 科目													

【人文学類】 注意事項

- (注1) 大学入学共通テストにおいて、「地理歴史」「公民」は、次のいずれかの組合せとします。
「地理歴史」から2科目又は「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目]
- (注2) 大学入学共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、18ページ「5 入学者選抜方法等 (4) 実施教科・科目等【留意事項】(iv)」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

【法学類】 注意事項

- (注3) 大学入学共通テストにおいて、「地理歴史」「公民」は、次のいずれかの組合せとします。
「地理歴史」から2科目又は「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目]

学域・学類等		大学入学共通テストの利用教科・科目名			大学入学共通テスト 受験科目チェック欄	個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										そ の 他		
		教科	科 目 名 等			教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	口述 試験	配点 合計			
人間社会 学 域	経 済 学 類	国 語	「国語」		☐ 必須	国 語 数 学 外国語	国語総合 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	共通テスト	100	※200 (100×2)		100	100	100			600	大学入学共通テストで、 志望する学域・学類等が課 すすべての教科・科目等 （「外国語」について「英語」 を選択する場合は、リスニ ングテストを含む。）を受験 しなければ、出願無資格者 とします。その場合は、個 別学力検査等を受験するこ とはできません。 また、個別学力検査等で、 志望する学域・学類等が課 す教科・科目等のすべてを 受験しなければ、失格とし ます。		
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から 1又は2	☐ ☐ ☐			2つ チェック	個別学力検査等	300			300		300				900	
		公 民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	から1 (注1)	☐ ☐ ☐ ☐			2つ チェック	計	400	200		400	100	400				1500	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1	☐ 必須 と ☐ ☐ ☐			1つ チェック												
		理 科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	から2	☐ ☐ ☐ ☐			2つ チェック												
		外 国 語	「英語」 ^(注2) 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1	☐ ☐ ☐ ☐ ☐			1つ チェック												
		計	〔5教科8科目〕又は〔6教科8科目〕		☐ 計			科目												

【経済学類】 注意事項

(注1) 大学入学共通テストにおいて、「地理歴史」「公民」は、次のいずれかの組合せとします。

「地理歴史」から2科目』又は「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目」

(注2) 大学入学共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、18ページ「5 入学者選抜方法等 (4) 実施教科・科目等 【留意事項】 (iv)」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等		大学入学共通テストの利用教科・科目名			大学入学共通テスト 受験科目チェック欄	個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										そ の 他				
		教 科	科 目 名 等			教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	口述 試験	配点 合計					
人間社会 学 学 域	学校教育学類	パターン A	国 語	「国語」		☐ 必須	国 語 数 学 理 科 その他 外国語	国語総合 数学Ⅰ・数学Ⅱ・ 数学A・数学B 物理基礎・物理、 化学基礎・化学、 生物基礎・生物、 地学基礎・地学 総合問題 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	共通テスト	100	※100 (50×2)		100	50	50			400	大学入学共通テストで、 志望する学域・学類等が課 すすべての教科・科目等 （「外国語」について「英語」 を選択する場合は、リスニ ングテストを含む。）を受験 しなければ、出願無資格者 とします。その場合は、個 別学力検査等を受験するこ とはできません。 また、個別学力検査等で、 志望する学域・学類等が課 す教科・科目等のすべてを 受験しなければ、失格とし ます。			
			地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」		から1又は2			☐ ☐ ☐	2つ チェック	個別学力検査等	200			※200	※200	200	※200			600	
			公 民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」		から1			☐ ☐ ☐ ☐	1つ チェック	計	数学選択 （個別）	300	100		300	50	250			1000	
			数 学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」		から1			☐ ☐ ☐ ☐	1つ チェック		理科選択 （個別）	300	100		100	250	250				
			理 科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」		から2			☐ ☐ ☐ ☐	2つ チェック		総合問題選択 （個別）	300	100		100	50	250		200		
			外 国 語	「英語」 ^{（注2）} 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」		から1			☐ ☐ ☐ ☐ ☐	1つ チェック												
			計	〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕					☐ 計 科目													
		パターン B	国 語	「国語」		☐ 必須	数 学 理 科 その他 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B 国語総合 物理基礎・物理、 化学基礎・化学、 生物基礎・生物、 地学基礎・地学 総合問題 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	共通テスト	100	※50 (50×1)		100	100	50			400				
			地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」		から1			☐ ☐ ☐	1つ チェック	個別学力検査等	※200			200	※200	200	※200			600	
			公 民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」		から1			☐ ☐ ☐ ☐	1つ チェック	計	国語選択 （個別）	300	50		300	100	250			1000	
			数 学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」		から1			☐ ☐ ☐ ☐	1つ チェック		理科選択 （個別）	100	50		300	300	250				
			理 科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」		から2			☐ ☐ ☐ ☐	2つ チェック		総合問題選択 （個別）	100	50		300	100	250		200		
			外 国 語	「英語」 ^{（注2）} 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」		から1			☐ ☐ ☐ ☐ ☐	1つ チェック												
			計	〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕					☐ 計 科目													

【学校教育学類】 注意事項

- (1) パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
- (2) パターンBの、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目(例えば「物理基礎」と「物理」)を組み合わせで選択することはできません。
- (3) 「『地理歴史』『公民』」と「理科」で5科目受験している場合(つまり、「『地理歴史』『公民』」2科目+「理科」の「基礎を付した科目」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」1科目)、以下のように成績を用います。
- 【パターンA】
- ① 「『地理歴史』『公民』」の第1解答科目及び第2解答科目 ② 「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い順に1科目(「理科」の「基礎を付した科目」2科目を利用した場合は2科目)
- 【パターンB】
- ① 「『地理歴史』『公民』」の第1解答科目 ② 「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目
- (4) 「『地理歴史』『公民』」と「理科」で4科目受験している場合(つまり、「『地理歴史』『公民』」2科目+「理科」の「基礎を付していない科目」2科目)、以下のように成績を用います。
- 【パターンA】
- ① 「『地理歴史』『公民』」の第1解答科目及び第2解答科目 ② 「理科」の第1解答科目
- 【パターンB】
- ① 「『地理歴史』『公民』」の第1解答科目 ② 「理科」の第1解答科目及び第2解答科目
- (注1) 大学入学共通テストにおいて、パターンAの「『地理歴史』『公民』」は、次のいずれかの組合せとします。
- 「『地理歴史』から2科目」又は「『地理歴史』から1科目及び「『公民』」から1科目」
- (注2) 大学入学共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、18ページ「5 入学者選抜方法等 (4) 実施教科・科目等【留意事項】(iv)」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等		大学入学共通テストの利用教科・科目名			大学入学共通テスト 受験科目チェック欄	個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										そ の 他				
		教 科	科 目 名 等			教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	口述 試験	配点 合計					
人間社会 学 学 域	地域創造学類	パターンA	国 語	「国語」	☐ 必須	国 語 数 学 外国語	国語総合 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	共通テスト パターンA	50	※180 (90×2)		50	90	30			400	大学入学共通テストで、 志望する学域・学類等が 課すすべての教科・科目等 （「外国語」について「英語」 を選択する場合は、リス ニングテストを含む。） を受験しなければ、出願無 資格者となります。その場合 は、個別学力検査等を受験 することはできません。 また、個別学力検査等で、 志望する学域・学類等が課 す教科・科目等のすべてを 受験しなければ、失格とし ます。				
			地理歴史	「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	から2			☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	2つ チェック	個別学力検査等 (国語傾斜)	300			100		200			600			
			公 民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」				☐ ☐ ☐ ☐		個別学力検査等 (数学傾斜)	100			300		200			600			
			数 学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1			☐ ☐ ☐ ☐	1つ チェック	計	パターンA 国語傾斜 (個別)	350	180		150	90	230			1000		
									パターンA 数学傾斜 (個別)		150	180		350	90	230						
			理 科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	から2			☐ ☐ ☐ ☐	2つ チェック													
				又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	から1			☐ ☐ ☐ ☐	1つ チェック													
			外国語	「英語」 ^(注1) 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1			☐ ☐ ☐ ☐ ☐	1つ チェック													
			計	〔5教科7科目〕、〔5教科8科目〕、 〔6教科7科目〕又は〔6教科8科目〕	☐ 計 科目			パターンB	国 語												「国語」	☐ 必須
			地理歴史	「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	から1				☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	1つ チェック	個別学力検査等 (国語傾斜)	300			100		200			600		
	公 民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」		☐ ☐ ☐ ☐		個別学力検査等 (数学傾斜)	100				300		200		600							
	数 学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1	☐ ☐ ☐ ☐	1つ チェック	計	パターンB 国語傾斜 (個別)		350	90		150	180	230		1000						
					パターンB 数学傾斜 (個別)		150		90		350	180	230									
	理 科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	から2	☐ ☐ ☐ ☐	2つ チェック																	
		と 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	から1	☐ ☐ ☐ ☐	1つ チェック																	
	又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	から2	☐ ☐ ☐ ☐	2つ チェック																		
	外国語	「英語」 ^(注) 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1	☐ ☐ ☐ ☐ ☐												1つ チェック						
	計	〔5教科7科目〕又は〔5教科8科目〕	☐ 計 科目																			

【地域創造学類】 注意事項

- (1) 「大学入学共通テストの利用教科・科目名」は、パターンA又はパターンBのいずれかによる受験が必要です。
- (2) パターンAの、「地理歴史」「公民」の2科目について、同一名称を含む科目（例えば「地理A」と「地理B」、「倫理」と「倫理、政治・経済」）を組み合わせで選択することはできません。
- (3) パターンBの、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目について、同一名称を含む科目（例えば「物理基礎」と「物理」）を組み合わせで選択することはできません。
- (4) 「地理歴史」「公民」と「理科」で5科目受験している場合（つまり、「地理歴史」「公民」2科目＋「理科」の「基礎を付した科目」2科目＋「理科」の「基礎を付していない科目」1科目）、以下のように成績を用います。
- ① 「地理歴史」「公民」の第1解答科目 ② 「地理歴史」「公民」の第2解答科目、「理科」の「基礎を付した科目」2科目及び「理科」の「基礎を付していない科目」1科目のうち、得点の高い順に2科目（「理科」の「基礎を付した科目」を利用した場合は3科目）
- (5) 「地理歴史」「公民」と「理科」で4科目受験している場合（つまり、「地理歴史」「公民」2科目＋「理科」の「基礎を付していない科目」2科目）、以下のように成績を用います。
- ① 「地理歴史」「公民」の第1解答科目 ② 「理科」の第1解答科目 ③ 「地理歴史」「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目
- (6) 個別学力検査について、出願時に「国語傾斜」か「数学傾斜」を選択する必要があります。
- (注) 大学入学共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、18ページ「5 入学者選抜方法等」(4) 実施教科・科目等【留意事項】(iv)を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

学 域 ・ 学 類 等		大学入学共通テストの利用教科・科目名			大学入学共通テスト 受験科目チェック欄	個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										そ の 他		
		教 科	科 目 名 等			教科等	科 目 名 等	試験の区分		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	口述 試験		配点 合計	
人間社会 学 域	国 際 学 類	国 語	「国語」		☐ 必須	国 語 数 学 その他 外国語	国語総合 数学Ⅰ・数学Ⅱ・ 数学A・数学B 総合問題 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	共通テスト		200	※300 (150×2)		200	100	200			1000	大学入学共通テストで、 志望する学域・学類等が課 すすべての教科・科目等 （「外国語」について「英語」 を選択する場合は、リスニ ングテストを含む。）を受験 しなければ、出願無資格者 とします。その場合は、個 別学力検査等を受験するこ とはできません。 また、個別学力検査等で、 志望する学域・学類等が課 す教科・科目等のすべてを 受験しなければ、失格とし ます。	
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から 1又は2	個別学力検査等			500			※500		500	※500		1500				
		公 民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	から1 (注1)	計			数学選択 （個別）	700	300		700	100	700			2500			
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	から1				総合問題選択 （個別）	700	300		200	100	700	500					
		理 科	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	から2																
		外 国 語	「英語」 ^(注2) 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1																
		計	〔5教科8科目〕又は〔6教科8科目〕		☐ 計			科目												

【国際学類】 注意事項

- (注1) 大学入学共通テストにおいて、「〔地理歴史〕」「公民」は、次のいずれかの組合せとします。
〔「地理歴史」から2科目〕又は〔「地理歴史」から1科目及び「公民」から1科目〕
- (注2) 大学入学共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、18ページ「5 入学者選抜方法等 (4) 実施教科・科目等 【留意事項】 (iv)」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等		大学入学共通テストの利用教科・科目名		大学入学共通テスト 受験科目チェック欄	個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										そ の 他
		教 科	科 目 名 等		教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	口述 試験	配点 合計	
理工学域	数物科学類	国 語	「国語」	☐ 必須	数 学 理 科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B 物理基礎・物理、 化学基礎・化学 } から1 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	共通テスト	200	※100 (100×1)		200	200	200			900	大学入学共通テストで、 志望する学域・学類等が課 すすべての教科・科目等 （「外国語」については「英語」 を選択する場合は、リスニ ングテストを含む。）を受験 しなければ、出願無資格者 とします。その場合は、個 別学力検査等を受験するこ とはできません。 また、個別学力検査等で、 志望する学域・学類等が課 す教科・科目等のすべてを 受験しなければ、失格とし ます。
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	☐ ☐ ☐			個別学力検査等				600	480	270			1350	
		公 民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	から1 ☐ ☐ ☐ ☐			計	200	100		800	680	470			2250	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	必須 と ☐ ☐ ☐													
		理 科	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	から2 ☐ ☐ ☐ ☐													
		外 国 語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐													
		計	〔5教科7科目〕	☐ 計 科目													
	物質化学類	国 語	「国語」	☐ 必須	数 学 理 科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B 化学基礎・化学 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	共通テスト	200	※100 (100×1)		200	200	200			900	
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	☐ ☐ ☐			個別学力検査等				450	450	450			1350	
		公 民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	から1 ☐ ☐ ☐ ☐			計	200	100		650	650	650			2250	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	必須 と ☐ ☐ ☐													
		理 科	「物理」 と 「化学」	必須 と ☐ 必須													
		外 国 語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐													
		計	〔5教科7科目〕	☐ 計 科目													

学域・学類等		大学入学共通テストの利用教科・科目名		大学入学共通テスト 受験科目チェック欄	個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										そ の 他
		教 科	科 目 名 等		教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	口述 試験	配点 合計	
理工学域	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類 (注)	国 語	「国語」	☐ 必須	数 学 理 科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B 物理基礎・物理 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	共通テスト	200	※100 (100×1)		200	200	200			900	大学入学共通テストで、 志望する学域・学類等が課 すすべての教科・科目等 （「外国語」について「英語」 を選択する場合は、リスニ ングテストを含む。）を受験 しなければ、出願無資格者 とします。その場合は、個 別学力検査等を受験するこ とはできません。 また、個別学力検査等で、 志望する学域・学類等が課 す教科・科目等のすべてを 受験しなければ、失格とし ます。
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐													

【機械工学類、フロンティア工学類、電子情報通信学類】 注意事項

(注) 機械工学類、フロンティア工学類、電子情報通信学類の前期日程の選抜は、3学類一括で実施します。各学類への移行は2年次からとします。

出願時に移行を希望する学類がある場合は1つだけ申請することができます(優先配属の申請)。優先配属は入試成績により決定します。

ただし、優先配属が決定した場合でも、2年進級時に優先配属を辞退して、他の2学類を再希望することができます。

また、優先配属を希望しない又は優先配属が決定しなかった場合、入学後の希望と学業成績により移行する学類を決定します。

＜優先配属の申請について＞

優先配属を申請する場合は、Web出願システムにおいて、出願登録の際に優先配属を希望する学類(いずれか1つ)を選択してください。

選択していない場合は、優先配属の申請を行わないものとみなします。

学域・学類等		大学入学共通テストの利用教科・科目名		大学入学共通テスト 受験科目チェック欄	個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										そ の 他
		教 科	科 目 名 等		教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	口述 試験	配点 合計	
理工学域	地球社会基盤学類	国 語	「国語」	☐ 必須	数 学 理 科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B 物理基礎・物理、 化学基礎・化学、 生物基礎・生物、 地学基礎・地学 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	共通テスト	200	※100 (100×1)		200	200	200			900	大学入学共通テストで、 志望する学域・学類等が課 すすべての教科・科目等 （「外国語」については「英語」 を選択する場合は、リスニ ングテストを含む。）を受験 しなければ、出願無資格者 とします。その場合は、個 別学力検査等を受験するこ とはできません。 また、個別学力検査等で、 志望する学域・学類等が課 す教科・科目等のすべてを 受験しなければ、失格とし ます。
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	☐ ☐ ☐			個別学力検査等				450	450	450			1350	
		公 民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	から1 ☐ ☐ ☐ ☐			計	200	100		650	650	650			2250	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	☐ 必須 と から1 ☐ ☐ ☐													
		理 科	「物理」 と 「化学」 「生物」 「地学」	☐ 必須 と から1 ☐ ☐ ☐													
		外 国 語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐													
		計	〔5教科7科目〕		☐ 計 科目												
理工学域	生命理工学類	国 語	「国語」	☐ 必須	数 学 理 科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B 物理基礎・物理、 化学基礎・化学、 生物基礎・生物、 地学基礎・地学 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	共通テスト	200	※100 (100×1)		200	200	200			900	大学入学共通テストで、 志望する学域・学類等が課 すすべての教科・科目等 （「外国語」については「英語」 を選択する場合は、リスニ ングテストを含む。）を受験 しなければ、出願無資格者 とします。その場合は、個 別学力検査等を受験するこ とはできません。 また、個別学力検査等で、 志望する学域・学類等が課 す教科・科目等のすべてを 受験しなければ、失格とし ます。
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	☐ ☐ ☐			個別学力検査等				450	450	450			1350	
		公 民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	から1 ☐ ☐ ☐ ☐			計	200	100		650	650	650			2250	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	☐ 必須 と から1 ☐ ☐ ☐													
		理 科	「物理」 「化学」 「生物」	から2 ☐ ☐ ☐													
		外 国 語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐													
		計	〔5教科7科目〕		☐ 計 科目												

学域・学類等		大学入学共通テストの利用教科・科目名			大学入学共通テスト 受験科目チェック欄	個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										そ の 他
		教 科	科 目 名 等			教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	口述 試験	配点 合計	
保健学類 看護学専攻		国 語	「国語」		☐ 必須	数 学 理 科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・ 数学B 物理基礎・物理、 化学基礎・化学、 生物基礎・生物 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	共通テスト	200	※100 (100×1)		200	200	200			900	大学入学共通テストで、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等（「外国語」については「英語」を選択する場合は、リスニングテストを含む。）を受験しなければ、出願無資格者となります。その場合は、個別学力検査等を受験することはできません。また、個別学力検査等で、志望する学域・学類等が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格となります。
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」		から1 ☐ ☐ ☐ 1つ チェック			個別学力検査等				400	500	500			1400	
		公 民	「倫理、政治・経済」		☐			計	200	100		600	700	700			2300	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」		と 必須 ☐ ☐ ☐ 1つ チェック													
		理 科	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」		から2 ☐ ☐ ☐ 2つ チェック													
		外 国 語	「英語」 ^(注) 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」		から1 ☐ ☐ ☐ ☐ 1つ チェック													
		計	〔5教科7科目〕					☐ 計 科目										
医薬保健 学 保健域	保健学類 放射線技術科学専攻	国 語	「国語」		☐ 必須	数 学 理 科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B 物理基礎・物理、 化学基礎・化学 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	共通テスト	100	※100 (100×1)		200	400	300			1100	
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」		から1 ☐ ☐ ☐ 1つ チェック			個別学力検査等				800	800	800			2400	
		公 民	「倫理、政治・経済」		☐			計	100	100		1000	1200	1100			3500	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」		と 必須 ☐ ☐ ☐ 1つ チェック													
		理 科	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」		から2 ☐ ☐ ☐ 2つ チェック													
		外 国 語	「英語」 ^(注) 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」		から1 ☐ ☐ ☐ ☐ 1つ チェック													
		計	〔5教科7科目〕					☐ 計 科目										
保健学類 検査技術科学専攻		国 語	「国語」		☐ 必須	数 学 理 科 外国語	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B 物理基礎・物理、 化学基礎・化学、 生物基礎・生物 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	共通テスト	200	※100 (100×1)		200	200	200			900	
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」		から1 ☐ ☐ ☐ 1つ チェック			個別学力検査等				400	800	400			1600	
		公 民	「倫理、政治・経済」		☐			計	200	100		600	1000	600			2500	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」		と 必須 ☐ ☐ ☐ 1つ チェック													
		理 科	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」		から2 ☐ ☐ ☐ 2つ チェック													
		外 国 語	「英語」 ^(注) 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」		から1 ☐ ☐ ☐ ☐ 1つ チェック													
		計	〔5教科7科目〕					☐ 計 科目										

【保健学類 看護学専攻、放射線技術科学専攻、検査技術科学専攻】 注意事項

(注) 大学入学共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、18ページ「5 入学者選抜方法等 (4) 実施教科・科目等【留意事項】(iv)」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等		大学入学共通テストの利用教科・科目名		大学入学共通テスト 受験科目チェック欄	個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										そ の 他
		教 科	科 目 名 等		教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	口述 試験	配点 合計	
医 薬 保 健 学 域	保 健 学 類 理学療法学専攻 作業療法学専攻 (注1)	国 語	「国語」	☐ 必須	理 科 外国語	物理基礎・物理、 化学基礎・化学、 生物基礎・生物、 コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	共通テスト	200	※100 (100×1)		200	200	200			900	大学入学共通テストで、志望する学域・学類等が課すすべての教科・科目等（「外国語」について「英語」を選択する場合は、リスニングテストを含む。）を受験しなければ、出願無資格者とします。その場合は、個別学力検査等を受験することはできません。また、個別学力検査等で、志望する学域・学類等が課す教科・科目等のすべてを受験しなければ、失格とします。
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	から1 ☐ ☐ ☐			個別学力検査等					1000	500			1500	
		公 民	「倫理、政治・経済」	☐			計	200	100		200	1200	700			2400	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	必須と から1 ☐ ☐ ☐													
		理 科	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	から2 ☐ ☐ ☐													
		外 国 語	「英語」(注2) 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	から1 ☐ ☐ ☐ ☐													
		計	(5教科7科目)	☐ 計 科目													

【保健学類 理学療法学・作業療法学専攻】 注意事項

(注1) 理学療法学専攻、作業療法学専攻の一般選抜（前期日程）は、2専攻併願で実施します。出願時に第2希望の専攻まで選択することができます。また、専攻別に合格者を発表します。

(注2) 大学入学共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、18ページ「5 入学者選抜方法等（4）実施教科・科目等 【留意事項】（iv）」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

学域・学類等		大学入学共通テストの利用教科・科目名			大学入学共通テスト 受験科目チェック欄		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等										そ の 他	
		教 科	科 目 名 等			教科等	科 目 名 等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	口述 試験	配点 合計			
一括	文系一括	国 語	「国語」		☐	外国語 その他	コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 総合問題	共通テスト	※200（100×2）					200			400	大学入学共通テストで、 志望する学域・学類等が課 すすべての教科・科目等 （「外国語」について「英語」 を選択する場合は、リスニ ングテストを含む。）を受験 しなければ、出願無資格者 とします。その場合は、個 別学力検査等を受験するこ とはできません。 また、個別学力検査等で、 志望する学域・学類等が課 す教科・科目等のすべてを 受験しなければ、失格とし ます。		
		地理歴史	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」		☐ ☐ ☐			個別学力検査等						200	400		600			
		公 民	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」		☐ ☐ ☐ ☐			計	200					400	400		1000			
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」 と 「数学Ⅱ・数学B」		から 2～4 (注1)			☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐												

【文系一括】 注意事項

大学入学共通テストの『「地理歴史」「公民」を2科目受験している場合、第1解答科目の成績を優先して利用します。よって、第2解答科目の成績を利用するのは、指定した教科・科目の範囲（「外国語」を除く）で高得点の上位2科目が『「地理歴史」「公民」の第1解答科目及び第2解答科目である場合のみです。

(注1) 大学入学共通テストにおいて、『「国語」,「地理歴史」,「公民」,「数学」,「理科」から3科目となるのは、「数学」2科目と他教科1科目の場合又は「理科」の「基礎を付した科目」2科目と他教科1科目の場合のみです。また、『「国語」,「地理歴史」,「公民」,「数学」,「理科」から4科目となるのは、「数学」2科目と「理科」の「基礎を付した科目」2科目の場合のみです。

(注2) 大学入学共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、18ページ「5 入学者選抜方法等 (4) 実施教科・科目等【留意事項】(iv)」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

【理系一括】 注意事項

(注3) 大学入学共通テストの「英語」については、英語外部試験のスコアの提出を認めます。詳細は、18ページ「5 入学者選抜方法等 (4) 実施教科・科目等【留意事項】(iv)」を確認してください。英語外部試験のスコアを提出する場合であっても、大学入学共通テストにおける「英語」を受験する必要があります。

(5) 採点・評価基準（個別学力検査）

《論述・記述問題》

教科等	留意している点等
国語	①設問に対していかに正確に答えているかを評価します。 ②解答内容をいかに的確に表現しているかを評価します。
数学	①解法の多様性を考慮し、解答の過程を十分吟味し評価します。 ②答案の論理構成に整合性があるかどうかを重視します。
物理	物理に対する基本的な理解度を見ます。
化学	化学における基本的な概念や原理・法則に対する理解の深さと化学的な思考力を評価します。
生物	生物における基本的な概念に対する知識や理解及び論理的思考能力を見ます。
地学	地学における基本的な知識や理解並びに論理的思考力を評価します。
英語	英文の内容を理解し、設問に対して自分の考えを的確に表現し伝える能力を見ます。
総合問題	日本語による資料を提示し、読解力、分析力、論理的思考力及び日本語による表現力等を総合的に評価します。
口述試験(医学類)	生命科学と人類の幸福に対する志、体験、資質等を総合的に評価します。

(6) 主体性評価

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」（以下、「主体性等」という。）を評価するため、高等学校等から提出された「調査書」を次のとおり活用します。

(i) 主体性等評価における調査書の点数化

- ① 新しい様式の調査書（以下「新調査書」という。）の記入欄に対応した評価項目を設定し、点数化します。
- ② 新調査書における「５．総合的な学習の時間の内容・評価」、「６．特別活動の記録」、「７．指導上参考となる諸事項」及び「８．備考」欄に記入された肯定的意見を点数化します。また、既卒者が提出する現行の調査書についても、対応する記入欄の記述内容を点数化します。
- ③ それぞれの項目における具体的な活動内容、活動期間、役職名等について客観的な基準を設けて評価します。
- ④ 主体性等評価の配点は、全学統一して、大学入学共通テストと個別学力検査の合計配点の概ね２％とします。
- ⑤ 学力検査の合計点により可否のボーダー層を抽出し、このボーダー層の志願者にのみ主体性等評価の得点を加算して可否を判定します。

(ii) 調査書記入上の注意事項等

調査書において、文章の表現や量の多寡は評価と関係ありません。客観的な基準を設けて諸活動の事実を評価しますので、箇条書き等による簡潔な記述で主な活動を記入してください。なお、肯定的意見のみを点数化の対象とし、否定的な意見、各評価項目に関係しない意見、空欄等については評価しません。

以下に、新調査書の「６．特別活動の記録」、「７．指導上参考となる諸事項」欄の一部の項目について、注意事項及び記入例を示します。なお、各項目で諸活動等が複数に及ぶ場合は、主な活動を２つまで選び記入してください。

① 「６．特別活動の記録」

特別活動の内容や期間が分かるように記入してください。記入がない場合には評価できない場合があります。

（例）体育祭活動（実行委員長，１学期）

（例）生徒会活動（生徒会長，後期）

② 「７．指導上参考となる諸事項」

記入がない場合には評価できない場合があります。

a) 部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等

校外での文化・芸術・スポーツ活動等も含め、部長等の役割がある場合や活動期間が分かるように記入してください。

ボランティア活動については内容や回数・期間、留学については留学先や期間が分かるように記入してください。

（例）吹奏楽部（活動期間 平成30年４月～令和３年１月現在，部長 令和元年９月～令和２年８月）

（例）ボランティア活動（近隣地域のクリーン活動，２日間を２回，計４日）

（例）語学留学（カナダ・プリティッシュコロンビア州〇〇スクール，３週間）

b) 取得資格、検定等

必ず証明書等を確認の上で記入してください。実用英語技能検定については合格した級だけではなくスコアも記入してください。

(例) TOEFL iBT (取得スコア70, 令和元年12月)

(例) 実用英語技能検定準1級不合格 (取得スコア2200, 令和元年11月)

(例) 実用フランス語技能検定2級合格 (令和元年5月)

c) 表彰・顕彰等の記録

必ず表彰状等を確認の上で記入してください。大会やコンテストにおける表彰については主催者や内容が分かるように記入してください。

(例) 金沢大学グローバルサイエンスキャンパス第2 (展開) ステージ修了 (令和元年10月)

(例) 第2回日本数学 A-lympiad 優秀賞 (令和元年12月)

(例) 金沢大学第3回 超然文学賞 優秀賞 (小説部門, 令和2年10月)

(例) 第17回高校生・高専生科学技術チャレンジ 優秀賞 (令和元年12月)

(例) 令和元年度全国高等学校総合体育大会 (ボート競技女子ダブルスカル, 出場, 令和元年7月)

d) その他

参加したプログラム等の名称だけではなく内容や主催者・期間が分かるように記入してください。

(例) 金沢大学グローバルサイエンスキャンパス参加 (令和元年7月～令和2年3月)

(iii) 調査書を提出できない志願者への対応

調査書を提出できない志願者の主体性等評価には、自己申告による「学習及び活動履歴報告書」(様式1)を使用し同じ評価項目で点数化します。この場合、留学等、資格・表彰等については証明書等の写しの提出を求めます。詳細は37ページ「6. 出願手続 (3) 出願書類等 ③その他必要な提出書類」の「学習及び活動履歴報告書」を確認してください。

(7) 試験期日

令和3年2月25日(木), 26日(金)

2月26日(金)は、一部の学類のみ行います。

(8) 試験時間割

令和3年2月25日(木)

学域・学類等			試験時間割	
学域融合	学先類導	文系傾斜 理系傾斜	数学 (選択) 12:30～14:00	
			数学 12:30～14:30	理科 15:20～17:00
人間社会学域	人文学類			
	法学類			
	経済学類		数学 12:30～14:00	
	学教学類 育校	パターン A パターン B	数学 (選択) 12:30～14:00	理科 (選択) 15:20～16:20
	地域創造学類		数学 12:30～14:00	
	国際学類		数学 (選択) 12:30～14:00	
理工学域	数物科学類			
	物質化学類			
	機械工学類			
	フロンティア工学類			
	電子情報通信学類			
	地球社会基盤学類		数学 12:30～14:30	理科 15:20～17:00
医薬保健学域	生命理工学類			
	医学類			
	薬学類			理科 15:20～17:20
	医薬科学類			
	保健学類	看護学専攻	数学 12:30～14:00	理科 15:20～16:20
		放射線技術科学専攻		
		検査技術科学専攻	数学 12:30～14:30	理科 15:20～17:20
		理学療法科学専攻 作業療法科学専攻		
一括	文系一括			
	理系一括			理科 15:20～17:20

令和3年2月26日(金)

学域・学類等			試験時間割	
融合学域	先導学類	文系傾斜	総合問題（選択） 9：30～11：30	国語 13：00～14：30

(9)試験場

(10)試験場は下記の予定です。ただし、志願者数によってキャンパスを変更することがあります。

融合学域、人間社会学域、理工学域、医薬保健学域（薬学類）、（文系一括・理系一括）入試：角間キャンパス

医薬保健学域（医学類、医薬科学類、保健学類）：宝町・鶴間キャンパス

(11)「試験場案内」及び「受験上の注意」等については、受験票に記載のURLからダウンロードしてください。

受験票印刷可能日：令和3年2月9日(火)

※大学入学共通テスト特例追試験を受験した場合は令和3年2月21日(日)

(12)令和3年2月24日(水)13：00以降、キャンパス内に試験場への経路案内及び試験場入口（玄関）に試験室案内等を掲示します。

(13)風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し、日程、到着時間等に十分ゆとりをもって行動してください。

6. 出願手続

本学の一般選抜（前期日程）の志願者は、次の手続により出願してください。

(1) 出願方法

○ Web出願の流れ



① Web出願システム

Web出願システムへは、本学（入試情報）Webサイト（本学トップページ＞教育＞入試情報）

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>からアクセスできます。



② 出願書類の送付先

提出先 〒920-8799 日本郵便株式会社金沢中央郵便局留 金沢大学学務部入試課（宛名ラベルに印字されています。）

〈注意〉

Web出願は、出願情報の登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは、完了しません。出願期間内に、証明写真のアップロード及び35～37ページの提出書類の郵送（出願期間内に必着）を済ませ、内容に不備がなかった場合完了とします。

〔出願に当たっての注意事項〕

- ① 大学入学共通テストの成績請求票の再発行を受けた場合は、再発行された成績請求票のみが有効です。この場合は、再発行された成績請求票により出願しなければ出願無資格者とします。
- ② 他の国公立大学（独自日程で入学選抜試験を行う公立大学を除きます）・学部等の総合型選抜、学校推薦型選抜合格者は、本学を受験しても入学許可は得られません。ただし、総合型選抜、学校推薦型選抜に合格した大学、学部等の定める入学辞退手続により入学辞退し、その許可を得た者を除きます。
- ③ 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- ④ 出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更には応じません。
- ⑤ **出願書類に不正な事実があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。**

(2) 出願期間

令和3年1月25日(月)～2月5日(金)

(Web出願システムは、令和3年1月18日(月)9:00から事前登録が可能)

出願書類は郵送（書留速達郵便に限る）するものとし、**令和3年2月5日(金)までの必着**とします。ただし、出願期間後に到着した出願書類のうち、**令和3年2月4日(木)までの発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理**。

※大学入学共通テスト特例追試験を受験した志願者の出願期間は以下のとおりです。

令和3年2月15日(月)～18日(木)

Web出願システムからの登録はできません。志願者は**令和3年2月8日(月)～17日(水)12:00までに**学務部入試課入学試験係へ氏名、志望学類、共通テスト受験番号及び連絡先（電話番号）をE-mailにて連絡してください。必要な手続について返信メールにて通知します。また、36～37ページに記載の「③その他必要な提出書類」は、郵送（書留速達郵便に限る。朱書きにて「出願書類在中」と記入した市販の封筒を使用。）するものとし、**令和3年2月18日(木)17:00までの必着**とします。

連絡・送付先 金沢大学学務部入試課入学試験係 〒920-1192 金沢市角間町

電話 076-265-5169（平日9:00～17:00 ※祝日を除く）

E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp

◎ 出願状況の情報提供

学域・学類・専攻ごとの出願状況（志願者数及び倍率）について、集計ができ次第、本学Webサイトに掲載します。

掲載期間 令和3年1月25日(月)～3月31日(水)

※大学入学共通テスト特例追試験を受験した志願者の出願状況については令和3年2月22日(月)から掲載します。

本学（入試情報）Webサイト <https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>



(3) 出願書類等

① Web出願システムでアップロード作業が必要なもの

証明写真データ	Web出願システムで登録及び入学検定料支払後、登録完了メールに記載のURLから、志願者本人の写真のアップロードを行ってください。 (注) 志願者本人と判別できるもので、カラー・上半身・無修正・無帽・正面向き・無背景・直近3ヶ月以内に撮影した100KB～5MBのjpg又はpng形式のデータを使用してください。
---------	---

② Web出願システムから印刷するもの（印字されている内容に誤りがないか確認してください。）

出願確認票（提出用）	Web出願システムで登録後、申込確認ページからA4サイズでカラー印刷し、提出してください。 (注) 出願確認票は、入学検定料の支払及び証明写真のアップロードが完了しないと印刷できません。 出願確認票（確認用）とは異なるので、注意してください。
宛名ラベル	Web出願システムで登録後、申込確認ページからA4サイズでカラー印刷したものを送付用の封筒に貼付けてください（普通紙印刷で糊付け可）。 (注) 封筒は、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）を使用し、書留速達で郵送してください。

③その他必要な提出書類

大学入学共通テスト 成績請求票	「図 令和3 共通テスト成績請求票 国公立前期日程用」を出願確認票の所定欄に貼って提出してください。
調査書	1. 高等学校若しくは中等教育学校卒業（卒業見込み）の者 (1) 文部科学省所定の様式により出身学校長が作成し厳封したもの (2) 指導要録等の保存期間が経過した者、又は廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合は、次のとおりにしてください（「学習及び活動履歴報告書」の提出も必要）。 ①卒業後5年を経過した場合 卒業証明書及び各教科・科目の修得単位を証明する書類（単位修得証明書等） ②卒業後20年を経過した場合 卒業証明書、成績通信簿（原本）、その他志願者が提出可能な修得単位数が分かる書類 これらの書類が提出できない場合は、出身高等学校を所管する教育委員会、知事又は出身高等学校長が作成した調査書を発行できない旨の証明書 ③廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合 卒業証明書、成績通信簿（原本）、その他志願者が提出可能な修得単位数が分かる書類及び出身高等学校を所管する教育委員会、知事又は出身高等学校長が作成した調査書を発行できない旨の証明書 ※成績通信簿（原本）を提出する場合は、後日返却するので、切手（簡易書留料金）を貼付の上、郵便番号・住所・氏名を記入した返信用封筒（市販のもので可）を同封してください。 2. その他の者 次のとおりにしてください（「学習及び活動履歴報告書」の提出も必要）。 (1) 高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定試験含む。）の合格者は、合格した科目の成績が記載された合格成績証明書をもって調査書に代えてください。なお、高等学校等において科目を修得したことにより、高等学校卒業程度認定の受験科目（大学入学資格検定の受験科目含む。）を一部免除された場合は、その免除された科目の高等学校等の成績証明書又は調査書（出身学校長が作成し、厳封したもの）を併せて提出してください。 (2) 高等専門学校第3学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者は、出身学校において文部科学省の定めた調査書に準じて作成したものをもって調査書に代えてください。 (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したものについては、教育課程等を修了（見込み）の者にあつては当該課程の修了（見込み）を証明する書類及び成績証明書を、検定等に合格した者にあつては合格証書の写し及び成績証明書を提出してください。 (4) 国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、フランス共和国のバカロレア資格取得者は、資格証書の写し及び成績証明書を提出してください。GCE A レベル資格取得者は、成績評価証明書を提出してください。（本学が指定する科目数や評価を満たしていることが必要です。出願に必要な科目数や評価については、38ページの表を確認してください。） (5) 国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程の修了（見込み）者は、当該課程の修了（見込み）を証明する書類、成績証明書及び当該教育施設がWASC, ACSI, CISのいずれかにより認定を受けていることを証明する書類を提出してください。 (6) 文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者は、修了（見込み）証明書及び成績証明書を提出してください。 (7) 本学の個別の入学資格審査を受けて認定された者は、「金沢大学入学資格認定書」の写しを提出してください。 3. 留意点 調査書の氏名と現在の氏名が相違している場合、改姓、改名した旨を記した書面（戸籍抄本等）を提出してください。

学習及び活動履歴報告書 (様式1) ※調査書を提出できない 者及び高等学校若しくは 中等教育学校卒業 (卒業見込み) 以外の者 のみ	本学(入試情報) Web サイトからダウンロードした所定の様式をA4サイズで両面(両面 が難しい場合は片面2ページ)印刷し作成してください。 記入に当たっては、「学習及び活動履歴報告書(様式1)」に記載の「学習及び活動履歴報 告書記入上の注意」に従ってください。 併せて、記入した資格・検定等の成績及び表彰・顕彰等を証明する資料の写しを提出して ください。
英語外部試験の 成績証明書等の写し ・ケンブリッジ英語検定 (リングスキル含む) ・実用英語技能検定 ・GTEC (CBT) ・IELTS ・TEAP (4技能又はCBT) ・TOEFL iBT (Special Home Edition 含む) ※成績利用の詳細は、18ペー ジの【留意事項】(iv) を 確認してください。	英語外部試験の成績を利用する者は、入学志願者が所持する成績を証明する書類の写しを 提出してください。 1. 本学選抜期日から遡って、2年以内に受験したスコアに限ります。 2. 本学では英語外部試験運営機関のオンライン成績ダウンロードシステムを利用すること により、出願時にはスコア原本の提出を不要とします。原本を提出した場合は返却しま せん。 3. ケンブリッジ英語検定のスコア(Statement of Results)を提出する場合は、必ず、成績 確認Webサイトから本学を試験結果の共有先に指定してください。指定していないこと が判明した場合は、英語外部試験の成績を利用できません。 4. ケンブリッジ英語検定リングスキルのスコア(Test Report)を提出する場合、複数回受 験の平均点は認めません。Test Reportに1受験日のAverage Scoreのみが表示されるよう (4技能のTest Dateが同一日になるよう)に依頼してください。なお、リングスキルは 自宅受験も対象とします。 5. 実用英語技能検定(英検)は、級や合否にかかわらず、CSEスコアにて判定します。提 出可能な英検の種類は、従来型、CBT、S-CBT、S-Interviewで英検Jr.及び英検IBAは除 きます。必ず4技能のCSEスコアが表示されているスコア(合格証明書若しくは2次試 験の個人成績表)を提出してください。 6. GTEC (CBT) は、OFFICIAL SCORE CERTIFICATEを提出してください。 7. IELTSのスコア(Test Report Form)を提出する場合は、必ず、マイページから電子送信 システム(STED RO)にて本学へ成績証明書を送付する手続を行ってください。送付 手続を行っていないことが判明した場合は、英語外部試験の成績を利用できません。 <送付先> 金沢大学学務部入試課 ※要望欄に「電子送信希望」と入力すること。 8. TEAP(4技能又はCBT)は、OFFICIAL SCORE REPORTを提出してください。 9. TOEFL iBT (Special Home Edition 含む)のスコア(Test Taker (Examinee) Score Report) はTest Date Scoreのみ認め、My Best Scoreは認めません。Test Date Scoreを提出する場 合は、必ず本学へInstitutional Score Report (旧名: Official Score Report) を送付する 手続を行ってください。送付手続を行っていないことが判明した場合は、英語外部試験 の成績を利用できません。(金沢大学 Institution Code : 8408) 10. 提出書類に不正があった場合は、失格とします。

＜本学の出願に必要なGCE Aレベル資格の科目数及び評価＞

学域・学類等		必要な科目数及び評価
融合学域	先導学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
人間社会学域	人文学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
	法学類	
	経済学類	
	学校教育学類	
	地域創造学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。 ただし、「生物」、「経済」、「地理」、「政治」、「歴史」、「数学」のうち2科目を含むものとする。
	国際学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
理工学域	数物科学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
	物質化学類	
	機械工学類 フロンティア工学類 電子情報通信学類 （理工3学類一括入試）	
	地球社会基盤学類	
	生命理工学類	
医薬保健学域	医学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。 ただし、「数学」1科目と「物理」、「化学」、「生物」のうち2科目の計3科目を含むものとする。
	薬学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。ただし、「数学」、「物理」、「化学」の3科目を含むものとする。
	医薬科学類	
	保健学類	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
「文系一括，理系一括」入試		Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。

(4) 入学検定料の支払

① 入学検定料 17,000円

入学検定料の他に、支払手数料として別途700円が必要です。また、入試成績開示を希望する場合は、1回の出願につき開示請求手数料700円が必要です。

② 支払期間

令和3年1月18日(月)～2月5日(金)

※大学入学共通テスト特例追試験を受験した場合は令和3年2月15日(月)～18日(木)

③ 支払方法

コンビニエンスストア、銀行ATM(Pay-easyでの支払)、クレジットカード(VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club)及びネットバンキング(ジャパンネット銀行及びセブン銀行の2行は利用できません。)のいずれかで支払可能です。

(注) 1. 銀行窓口での支払はできません。

2. コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払はできません。

3. クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。

4. 出願書類受理後は、いかなる理由があっても入学検定料の返還には応じません。

ただし、以下の場合は返還を行うことができますので、令和3年2月26日(金)までに手続きを行ってください。なお、締切を過ぎてからの請求には一切応じません。

- ・入学検定料の支払後、出願しなかった場合は、下記担当へ連絡してください。開示請求手数料を支払っている場合は、入学検定料と併せて返還します。
 - ・出願受付後に大学入学共通テスト受験科目不足等による出願無資格者であることが判明した者又は医薬保健学域医学類前期日程の志願者のうち、第1次選考で不合格となった者には、入学検定料のうち、13,000円を返還します。
- については、入学検定料一部返還請求書を送付しますので下記担当へ提出してください。

担当 財務部財務管理課出納係 〒920-1192 金沢市角間町

電話 076-264-5066

E-mail syunyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

7. 受験票の印刷

令和3年2月9日(火)(大学入学共通テスト特例追試験を受験した者は令和3年2月21日(日))から、Web出願システムから受験票の印刷が可能です。「申込確認画面」からログインし、A4サイズで印刷してください。

- (1) 受験票には、受験上の注意・試験会場案内が確認できるWebサイトのURL及び2次元バーコードがあります。必ずアクセスして内容を確認の上、受験してください。
- (2) 氏名等に間違いがある場合には、学務部入試課入学試験係へ連絡してください。
連絡先 076-264-5169
- (3) 試験当日は、印刷した「受験票」及び「大学入学共通テスト受験票」を必ず持参してください。
- (4) 「大学入学共通テスト受験票」は、個別学力検査等受験等に必要なので、入学手続きが完了するまで大切に保管してください。
- (5) 受験番号は、入学手続き及び個人成績閲覧(出願時に成績開示を希望した場合のみ、令和3年5月頃)にも必要です。それまで本学「受験票」は大切に保管してください。成績開示の詳細は、47ページ「10.入学試験の個人成績開示」を確認してください。

8. 合格者発表

合格者の受験番号を学内掲示場及び本学（入試情報）Webサイトにおいて発表するとともに、**合格者にのみ**合格通知書を送付します。また、本学同サイトの「オンライン合否照会システム」から合否の確認をすることができます。

なお、電話等による合否の照会には応じません。

本学（入試情報）Webサイト 本学トップページ＞教育＞入試情報

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>

オンライン合否照会システム

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/goukakusyhappyou>



発表日時 令和3年3月10日(水) 10:00(予定)

発表場所 大学会館前掲示場（角間キャンパス北地区）49～50ページのキャンパスマップを確認してください。

9. 入学手続

(1) 入学手続

入学手続は、Webサイト上の「入学手続システム」から行います。詳細は、後日公表する入学手続要項を確認してください。

① 入学手続期間

令和3年3月15日(月)まで

② 入学手続方法

- ・入学手続システムへの情報入力
- ・入学料の支払
- ・必要書類の郵送

③ 留意事項

- ・入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。
- ・本学に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除きます。）に入学手続を行うことはできません。
- ・他の国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除きます。）に入学手続を行った者は、これを取り消して本学に入学手続を行うことはできません。
- ・国公立大学の分離・分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限って、入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

(2) 入学料の納入

① 入学料

282,000円（予定）

（注）上記金額は予定額であり、入学時に入学料を改定した場合には、改定時から新入学料額を適用します。

② 納入方法

コンビニエンスストア（日本国内のみ）、銀行ATM（Pay-easy：日本国内のみ）、ネットバンキング（日本国内のみ）、クレジットカードのいずれかで支払可能です。

10. 欠員補充の方法

(1) 追加合格

入学手続の結果、欠員が生じた場合は、令和3年3月28日(日)以降に「追加合格」を通知することがあります。

追加合格の通知は、出願確認票に記載されている電話番号又は携帯番号へ直接連絡しますので、不在にする場合も連絡がとれるように手配してください。

なお、合格候補者に対し連絡を開始してから、概ね5時間を経過しても本人と連絡がとれない場合には、次の候補者に連絡をとることがあります。

また、他の国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除きます。）に入学手続を完了した者は、それを取り消して、本学の入学手続を行うことはできません。

(2) 欠員補充第2次募集

必要がある場合には、欠員補充第2次募集を行います。

欠員補充第2次募集を実施する場合には、決定次第、本学Webサイトに掲載するとともに報道機関（特に新聞）を通じて公表します。

本学（入試情報）Webサイト <https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>



11. 追選考

新型コロナウイルス感染症による受験者への影響に鑑み、令和3年度入試に限り、次のとおり特例措置を行います。

(1) 対象者

- ① 当該試験に出願し、新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日までに医師が治癒したと判断していない者及び試験直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者。
- ② 発熱・咳等の症状があり、試験当日の検温で37.5度以上の発熱があり、新型コロナウイルス感染症の罹患の疑いがあると医師に診断された者で、当日試験を受験することができないもの。
- ③ 新型コロナウイルス感染症の影響により、渡航が制限されている国・地域に在住している受験者であり、当該試験を受験することができない者。
- ④ 新型コロナウイルス感染症の影響により、当該試験の実施を取り止めた場合において、当該試験の追試験等による受験が困難である者。

ただし、当該試験における試験科目を1科目でも受験した者は当該試験の特例措置対象者とはしません。

(2) 特例措置の内容等

① 特例措置の内容

ア 募集単位において大学入学共通テストの成績及び出願書類等による総合的な判定を行う追選考を実施します。

なお、合格者発表は追選考も含め、令和3年3月10日(水)に行います。

イ 入学検定料の一部(13,000円)返還を行う。(①対象者③及び④)

なお、返還に伴う振込手数料等は大学負担とします。

② 実施学類

当該入試実施学類（一括入試を含む。）

③ 手続方法等

ア 受付期間 令和3年2月25日(木) 9:00~16:00

イ 手続方法

受付期間内に金沢大学学務部入試課あて電話等により連絡

状況確認後、特例措置の適用申請書、診断書の提出方法等を通知

(3) その他

① 追選考対象者の入試成績開示は行いません。また、入試成績開示手数料(700円)は返還しません。

② 新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、本対応を含め見直す場合があります。その場合は、本学（入試情報）Webサイトに掲載しますので、確認してください。

本学（入試情報）Webサイト <https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>



12. 入試情報の提供

(1) 本学（入試情報）Web サイト

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>



期 間	内 容
令和3年1月25日(月) ～ 3月31日(水)	出願状況（学域・学類等ごとの志願者数及び倍率）
令和3年2月16日(火) 16:00頃 ～ 24日(水)	医薬保健学域医学類前期日程 2段階選抜実施状況等
令和3年3月10日(水) 10:00頃 ～ 31日(水)	前期日程合格者発表（受験番号のみ）
令和3年4月16日(金) ～ 令和4年3月31日(木)	志願者、受験者、合格者、追加合格者及び入学者数
	合格者の最高・最低点及び平均点 ^{*1} 大学入学共通テスト、個別学力検査等の各合格点及び総合点について掲載
	各科目の正解・解答例
	各科目の問題 ^{*2}

※1 募集人員又は合格者が10人未満の学域・学類等については、開示しません。

※2 各科目の問題については、著作権の手続が完了次第、開示します。

(2) 金沢大学入試情報アプリ（金沢大学公式アプリ）

本学の入試情報（入試日程、学生募集要項、入学者選抜方法等の変更・予告、Web出願システム等）、学生募集イベント情報（オープンキャンパス等）、学域・学類の紹介等を配信しています。

金沢大学入試情報アプリ
(スマートフォン用アプリ)
ダウンロード（無料）はこちらから



13. JAPAN e-Portfolio 学びのデータ

令和2年8月7日付けで文部科学省が「JAPAN e-Portfolio」の運営許可取り消しを公表したことを受けて、本学入学者選抜では活用しません。

14. 問合せ先

電話での問合せは、平日（月～金曜日※祝日、夏季休業及び年末年始を除く）9:00～17:00の間で本人に限ります。

また、志願者本人がこの学生募集要項を熟読し、必ず本人の責任で本入学者選抜に関するすべての事項を確認してください。

(1) 入学試験関係 入学試験に関する問合せは、下記へ行ってください。

学務部入試課入学試験係	〒920-1192 金沢市角間町	電 話 076-264-5169 FAX 076-234-4042 E-mail boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp
-------------	------------------	--

新型コロナウイルス感染症の対応に関する情報提供等

不測の事態により、発表内容、試験時間等を変更する場合は、本学Webサイトに随時情報を掲載しますので、出願前及び受験直前に必ず確認してください。

本学（入試情報）Web サイト

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission>

本学トップページ>教育>入試情報



(2) 修学関係

入学後の授業及び学生生活に関する問合せは、下記へ行ってください。

志望学域・学類等		問合せ先	
融合学域	先導学類	学務部融合学域設置推進室 Email yugokyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076 - 264 - 5910	〒920 - 1192 金沢市角間町
人間社会学域	人文学類	人間社会系事務部学生課教務係 Email n-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076 - 264 - 5603	
	法学類		
	経済学類		
	学校教育学類		
	地域創造学類		
	国際学類		
理工学域	数物科学類	理工系事務部学生課教務係 Email s-kyomu@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076 - 234 - 6831	
	物質化学類		
	機械工学類		
	フロンティア工学類		
	電子情報通信学類		
	地球社会基盤学類		
	生命理工学類		
医薬保健学域	医学類	医薬保健系事務部学生課医学学務係 Email t-igaku1@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076 - 265 - 2125, 2127	〒920 - 8640 金沢市宝町13番1号
	薬学類	医薬保健系事務部薬学・がん研支援課薬学学務係 Email y-gakumu@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076 - 234 - 6827, 6828	〒920 - 1192 金沢市角間町
	医薬科学類	医薬科学類設置準備事務室 Email i-gakumu@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076 - 265 - 2125, 2127	〒920 - 8640 金沢市宝町13番1号
	保健学類	医薬保健系事務部保健学支援課保健学務係 Email t-igaku2@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076 - 265 - 2515, 2516	〒920 - 0942 金沢市小立野5丁目11番80号
文理系一括 (国際基幹教育院総合教育部)		学務部基幹教育支援課基幹教育学務係 Email stgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp 電話 076 - 264 - 5758	〒920 - 1192 金沢市角間町

■ 学生生活・個人情報

1. 修学支援新制度

修学支援新制度とは、「入学金・授業料の免除又は減額」と返還を要しない「給付型奨学金」の2つの支援により、大学等の高等教育機関で安心して学ぶことができる国の制度で、本学も対象機関となっています。支援対象となる学生は、住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生です。申請する前に必ず、**自身が対象となるか日本学生支援機構の「進学資金シミュレーター」で確認してください。**

進学資金シミュレーター

<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>

シミュレーションする→奨学金選択シミュレーション→給付奨学金シミュレーション（保護者の方向け）



金沢大学修学支援新制度 Web サイト

本学トップページ>学生生活>経済支援>修学支援新制度（学域・総合教育部対象）

https://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/economic/school_support



申請方法等の詳細は、後日公表する入学手続要項にて確認してください。

2. 入学金徴収猶予

修学支援新制度の申請要件に該当しなかった者でも、入学金徴収を猶予する場合があります。詳細は、後日公表する入学手続要項にて確認してください。

3. 本学が加入を義務付けている学生保険

本学では、学生生活における事故に備え、**学生教育研究災害傷害保険（学研災）**及び**学研災付帯賠償責任保険（付帯賠償）**への加入を義務付けています。いずれの保険も、全国の大学・短期大学の学生を対象とし、公益財団法人日本国際教育支援協会が取り扱っている補償制度です。保険料及び納付方法等の詳細は、入学手続要項を確認してください。

学 研 災：国内外において、①教育研究活動中に生じた急激かつ偶然な外来の事故、②通学中、学校施設等での移動中の事故によって身体に被る傷害（ケガ）に対して保険金が支払われます。

付帯賠償：国内外において、正課、学校行事、課外活動又はその往復において、他人にケガを負わせた場合、他人の財物を損壊した場合等により、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について保険金が支払われます。付帯賠償と学研災の両方への加入が必須です。

4. 授業料の納入

授業料前期（第1・2クォーター）分 267,900円（予定）

後期（第3・4クォーター）分 267,900円（予定）（年額 535,800円（予定））

授業料の納入方法は、本学指定の金融機関が、学生等の開設した預金口座から自動的に授業料を口座振替する「預金口座振替制度」とします。合格通知書とともに送付するパンフレット「授業料の納入について」を確認してください。

（注）上記の金額は予定額であり、入学時又は在学中に授業料を改定した場合には、改定時から新授業料額を適用します。

5. 奨学金

本学で扱っている奨学金には、日本学生支援機構、地方公共団体及び民間奨学団体の奨学金があります。主に学業成績が優秀かつ学資支弁の困難な学生を対象とし、学力・家計状況等を審査の上、貸与（又は給付）の可否を決定します。

(1) 日本学生支援機構の貸与型奨学金

日本学生支援機構の貸与型奨学金には、利子の付かない第一種奨学金と、利子の付く第二種奨学金があり、申請する場合は、申込基準を満たしている必要があります。また、卒業後は返還しなければなりません。詳細は、本学Webサイトの奨学金のページで確認してください。

本学トップページ>学生生活>経済支援>奨学金・各種給付・貸付等
<https://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/economic/scholarship>



(2) その他の奨学金

地方公共団体や民間企業・財団等の奨学金があります。大学へ募集があった奨学金は本学Webサイト、アカンサスポータル等でお知らせしますので、希望する場合は、入学後に本学Webサイト等を確認し、案内に従って申し込んでください。

また、本学Webサイト等でお知らせする奨学金以外にも、各種団体が直接、個人応募を受け付けている場合があります。

6. 学生留学生宿舎

本学には、国際交流を促進しグローバル人材を育成することを目的に、外国人留学生と日本人学生が1つのユニット（男女別）で生活するシェアハウス型の学生寄宿舍「北溟」があります。

「北溟」は空室がある場合に限り、入居者を募集します。入居申請方法等詳細は、本学Webサイトを確認してください。

本学トップページ>学生生活>生活支援>住居（学生寄宿舍）
<http://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/livelihood/residence>



私費外国人留学生は、国際部留学企画課又は各学類の留学生担当係へ入居を希望する旨をお知らせください。

宿 舎 名	北 溟（ほくめい）
所 在 地	〒920-1192 金沢市角間町
設 置 年 月	平成29年4月
定 員	外国人留学生 120名 日本人学生 80名 ※1ユニット 外国人留学生3名 日本人学生2名
入 居 期 間	原則2年間
募 集 人 数	男子 若干名 ・ 女子 若干名 （ユニットは男女別）
個 室	約10㎡ ベッド・机・椅子・本棚・クローゼット等
ユニット内共用部分	リビングダイニング・キッチン・トイレ・洗面洗濯・シャワー
生 活 費	寄 宿 料 月額 26,800円
	諸 経 費 月額 9,500円 ※家具家電設備・光熱水費等
	合 計 月額 36,300円

7. 学生寮

本学には、学生寮が2棟ありますが、いずれも令和5年3月で閉寮します。閉寮までの退寮を確約した者のみ入寮を許可します。

男子寮：泉学寮（せんがくりょう）

所在地 / 〒921-8031 金沢市野町5-8-10

定員 / 168名 ※居室は各室2人部屋

募集人数 / 約90名

寄宿料 / 月額 700円

諸経費 / 月額 約8,000円

※光熱水費等

女子寮：白梅寮（はくばいりょう）

所在地 / 〒921-8034 金沢市泉野町2-13-1

定員 / 140名 ※居室は各室2人部屋

募集人数 / 約70名

寄宿料 / 月額 700円

諸経費 / 月額 約8,000円

※光熱水費等

(1) 入寮願の請求

下記のいずれかの方法で入寮願を取り寄せてください。

- ① 本学Webサイトからダウンロード

本学トップページ>学生生活>生活支援>住居（学生寄宿舍）

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/campuslife/livelihood/residence>

- ② 郵送による請求

返信用封筒（長形3号：12cm×23.5cmに受信者の郵便番号・住所・氏名を明記し、94円切手を貼付）を学務部学生支援課学生相談係あて送付してください。



(2) 入寮願の提出期間等

提出期間	提出先	選考結果の通知
令和3年3月10日（水）～16日（火）（必着）	48ページの「12. 申請書類等の請求及び照会先」確認	令和3年3月19日（金）

提出期間後の入寮希望者については、欠員がある場合に限り、入寮願の提出が可能です。提出期間が過ぎている場合は学務部学生支援課学生相談係まで欠員の有無を確認してください。

【入寮願請求先及び欠員問合せ先】

48ページの「12. 申請書類等の請求及び照会先」を確認してください。

8. 保健管理センター

保健管理センターでは、学生の心身の健康の増進を図るため、医師、カウンセラー（公認心理師・臨床心理士）、看護師、保健師等によって、定期健康診断、健康相談、学生相談、応急手当等を行っています。また、学生の心身の成長を支援する学生支援プログラムを提供しています。

9. 携帯型パソコンの準備

(1) 本学での学修、研究生活

本学では、「高度情報化社会に対応できる情報処理の基礎能力・総合力を持った人材育成」を重視しています。キャンパス内のほとんどの場所で無線LAN整備が完了し、ポータルサイト「アカンサスポータル」をサービス利用の入り口としています。

入学者はそれぞれ携帯型パソコンを準備することで、ネットワークに接続してアカンサスポータルに入り、パソコンから履修登録、授業での教員との連絡、e-learning教材による自習、レポートの提出、成績確認等を行います。更に、健康診断結果や、就職支援をはじめ学生生活全般に関する情報の取得や連絡を、ネットワークを介して行います。入学後すぐに開講する全学生必修科目「データサイエンス基礎」にて、受講者は各自の携帯型パソコンをネットワークに接続し、情報ネットワークの安全な利用方法、学類毎に必要なソフトウェアの利用方法等を学びます。

特別な事情がない限り、本学入学時までに携帯型パソコンを準備してください。

(2) 携帯型パソコンの必要条件

令和3年度入学者のための携帯型パソコンの必要条件、金沢大学生協から販売予定の金沢大学オリジナルモデルの案内については、合格通知の際にお知らせします。必要条件を満たすパソコンを既に持っている場合には新たに購入する必要はありません。新規購入を検討する場合には、後日、案内する携帯型パソコンの必要条件を確認し、条件を満たすものを購入してください。

(3) マイクロソフト包括ライセンス

本学ではマイクロソフト社のソフトウェア（Office等）についての包括ライセンス契約を令和3年度も継続する予定です。この場合、本学の新生入学者は、Officeソフトウェア一式を無償で使用できますので、購入の必要はありません。

(4) 携帯型パソコンの貸与

経済的事情等により携帯型パソコンを用意することが困難な場合には、大学から携帯型のパソコンを半年間無償貸与します（1回のみ更新可能）。修学支援新制度申請者及び入学料徴収猶予申請者に限りますので、これらの申請の際に貸与の申込みを同時に行ってください。

10. 入学試験の個人成績の開示

出願時に成績開示を希望した者は、本学Webサイトの「個人成績開示システム」から令和3年度入試の個人成績が閲覧できます。

(1) 請求方法

- ① 成績開示を希望する志願者は、Web出願登録の際に、試験成績開示請求項目の「希望する」を必ず選択してください。出願後のメール、電話等による個別の開示請求は受け付けません。
- ② 「希望する」を選択した場合、**1回の出願につき開示請求手数料700円が別途必要**です。入学検定料と併せて支払ってください。

(2) 開示内容

- ① 本学が利用した大学入学共通テストの科目ごとの得点及び合計点（大学入学共通テストを課す入試のみ）
- ② 個別学力検査等の科目ごとの得点及び合計点

(3) 開示の時期

令和3年5月6日(木)から6月30日(水)まで閲覧可能です。

(注1) 閲覧するには、「受験番号」・「生年月日」・Web出願登録時の「セキュリティコード」が必要です。開示時期は出願からかなり期間が空くので、受験番号及びセキュリティコードの管理には注意してください。

(注2) 万が一、セキュリティコードがわからなくなった場合には、登録したメールアドレス宛に通知を受けることができます。**必ず開示時期まで変更しないメールアドレスを登録してください。**

(注3) 「受験番号がわからなくなった」、「セキュリティコードがわからなくなったが登録したメールアドレスが使用できない」などの問合せには応じません。

(4) 閲覧方法

- ① 本学Webサイトの入試情報のページから個人成績開示システムへ進んでください。

本学トップページ>教育>入試情報>令和3年度入学試験の個人成績開示
<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/seisekikaiji>



- ② 「受験番号」・「生年月日」・Web出願登録時の「セキュリティコード（パスワード）」を入力すると閲覧できます。

11. 個人情報の保護

金沢大学では、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び学内管理規定等に基づき、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続時に提出していただく書類に記載されているすべての個人情報は、次の業務で利用します。

- (1) 入学選抜及び入学手続に関わる業務
- (2) 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- (3) 入学後の本学ポータルサイト利用、学内LAN利用、図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務
- (4) 入学料免除、授業料免除、奨学生選考等の修学支援に関わる業務
- (5) 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- (6) 入学選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
- (7) 在学者及びその家族を対象とする広報に関わる業務及び基金（寄附）に関わる業務
- (8) 卒業・修了者に対する学習成果等調査（アウトカムズ・アセスメント）、同窓会及び基金活動への支援、本学を通じた情報サービス・情報提供等に関する業務
- (9) その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務

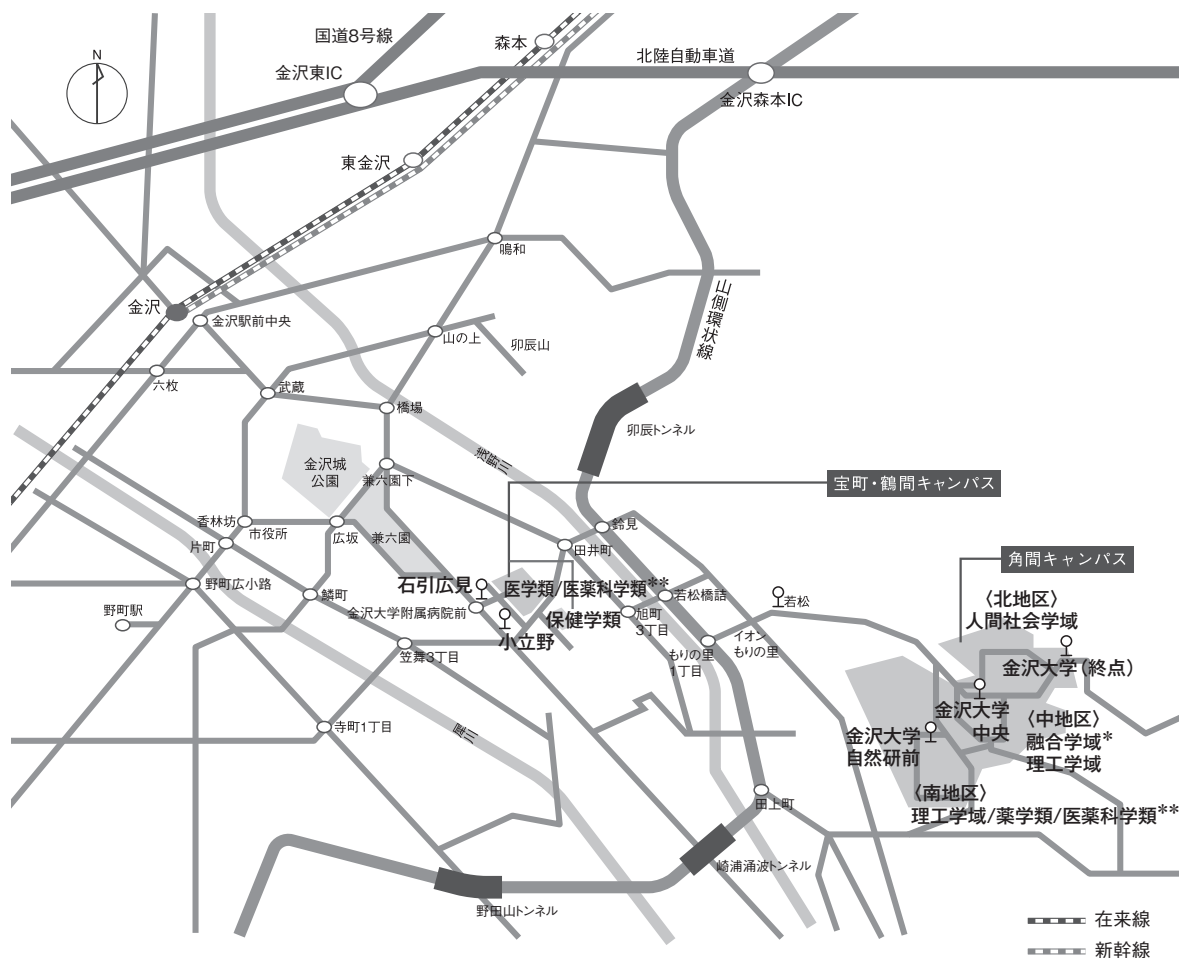
なお、国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限り、合格及び入学手続等に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

12. 申請書類等の請求及び照会先

項目		請求及び照会先	
修学支援新制度入学料徴収猶予		学務部学生支援課学生支援係（本部棟2階） E-mail stsien@adm.kanazawa-u.ac.jp 電 話 076-264-5164	〒920-1192 金沢市角間町
奨学金	私費外国人留学生以外		
	私費外国人留学生	国際部留学企画課留学支援係（本部棟3階） E-mail ryukou@adm.kanazawa-u.ac.jp 電 話 076-264-5294	
学生留学生宿舍学生寮		学務部学生支援課学生相談係（本部棟2階） E-mail gakuryo@adm.kanazawa-u.ac.jp 電 話 076-264-5167	
学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険		保健管理センター事務室（本部棟1階） E-mail soudan@adm.kanazawa-u.ac.jp 電 話 076-264-5254	

■ キャンパスマップ

1. 金沢大学所在地略図



キャンパス名	学域等	交通機関
かくま 角間	事務局（学務部） 融合学域* 理工学域 医薬保健学域 ・薬学類 ・医薬科学類** （創薬科学コース）	JR 金沢駅兼六園口（東口）バスターミナルから北陸鉄道バス 「金沢大学」行き乗車 「金沢大学自然研前」下車 （JR 金沢駅から約35分）
	人間社会学域	JR 金沢駅兼六園口（東口）バスターミナルから北陸鉄道バス 「金沢大学」行き乗車 「金沢大学」終点下車 （JR 金沢駅から約40分）
たからまち つるま 宝町・鶴間	医薬保健学域 ・医学類 ・医薬科学類** （生命医科学コース） ・保健学類	JR 金沢駅兼六園口（東口）又は金沢港口（西口）バスターミナルから北陸鉄道バス 「湯涌温泉」「東部車庫（橋場町経由）」「北陸大学」「金沢学院大学（橋場町経由）」行きのいずれかに乗車 「小立野」又は「石引広見」下車 （JR 金沢駅から約20分）

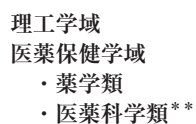
* 融合学域は、融合学域設置推進室の位置を示しています。

** 医薬科学類は、各コースの主たる教育施設の位置を示しています。

本学（アクセス・キャンパスマップ）Web サイト 本学トップページ>アクセス・キャンパスマップ
<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/access/>



①角間キャンパス



The map shows the layout of Kanazawa University and its surrounding areas. Key locations include:

- 金沢大学附属病院** (Kanazawa University Hospital)
- 金沢大学附属病院バス停** (Kanazawa University Hospital Bus Stop)
- 金沢先進医学センター** (Kanazawa Advanced Medical Center)
- 医学部記念館** (Faculty of Medicine Memorial Hall)
- 十全講堂** (Jūshū Kōdō)
- 医学図書館** (Library of Medicine)
- 医学類F棟** (Faculty of Medicine Building F)
- 保健学類1号館** (Faculty of Health Sciences Building 1)
- 保健学類2号館** (Faculty of Health Sciences Building 2)
- 保健学類3号館** (Faculty of Health Sciences Building 3)
- 保健学類4号館** (Faculty of Health Sciences Building 4)
- 保健学類5号館** (Faculty of Health Sciences Building 5)
- 体育館** (Gymnasium)
- 保健学類福祉施設** (Faculty of Health Sciences Welfare Facility)
- 至路見!** (To the Road!)
- 至路舞!** (To the Dance!)
- 如來寺前バス停** (Koromoji Bus Stop)
- 小立野バス停** (Kodanobu Bus Stop)
- 石引広見バス停** (Ishihiki Kōmi Bus Stop)
- 県道金沢井波線** (Kanazawa Inari Line)
- 0m 40m** (Scale bar)
- N** (North arrow)

(様式1)

令和3(2021)年度 金沢大学入学者選抜
学習及び活動履歴報告書

※受験番号

※欄は記入しないでください。

志願学域・学類等	学域	志願者	ふりがな	
	学類		氏名	
	専攻		生年月日	西暦 年 月 日生

1 主体的な学習の履歴	
2 主体的な活動の履歴	(1) 特別活動（生徒会・委員会等）・部活動等の記録
	(2) ボランティア活動, 留学等

(次頁へ続く)

※受験番号

(前頁から続く)

※欄は記入しないでください。

2 主 体 的 な 活 動 の 履 歴	(3) 取得資格・検定等
	(4) 表彰・顕彰等の記録
	(5) その他の活動等

以上の記載に間違いありません。

西暦

年

月

日

志願者氏名（自署）

＜学習及び活動履歴報告書記入上の注意＞

1. 本様式は、A4サイズで両面（両面が難しい場合は片面2ページ）印刷の上、志願者本人が自筆で記入してください（鉛筆・シャープペンシル・消せるボールペン不可）。
2. PC等で作成する場合は、作成後、A4サイズで両面（両面が難しい場合は片面2ページ）印刷の上、志願者本人が自筆で日付と氏名（自署欄）を記入してください（鉛筆・シャープペンシル・消せるボールペン不可）。
枠を広げたり、フォントや文字サイズを変える等の書式変更はできません。
3. 「主体的な学習の履歴」には、「総合的な学習の時間」の活動、校内・校外での課題研究等の主体的な学びについて、その概要・成果などをできるだけ具体的に記入してください。
4. 「特別活動・部活動等の記録」には、所属する係や委員会、部活動（課外活動）の名称、具体的な活動内容、活動期間、その活動における役割・役職等を記入してください。なお、部活動には地域の文化・芸術・スポーツ活動を含みます。
5. 「ボランティア活動・留学等」には、ボランティア活動の具体的な内容、実施期間を、留学等については、留学（海外渡航経験を含む）における学習内容、単位修得等を記入してください。
6. 「取得資格・検定等」には、資格・検定等の内容、取得スコア、取得時期等を記入してください。
7. 「表彰・顕彰等の記録」には、各種大会やコンクール等の名称、内容、時期等を記入してください。
8. 「その他の活動等」には、上記の項目以外で主体的に関わった諸活動等をできるだけ具体的に記入してください。
9. 記入された資格・検定等の成績及び表彰・顕彰等を証明する資料（活動の成果や取得した資格等を示すもの：表彰状、新聞等の記事、論文、英語検定試験の成績証明書、各種資格証明書等）の写しを必ず添付してください。